

2026 知事選告示前 県民世論調査

報告書

（2026年6月5日～6月30日調査）

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果	
	（i）単純集計	4
	（ii）概要	6
	（iii）集計表	28
	（iv）「その他」の回答	66
III	調査票	67



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<https://www.nagano-yoron.or.jp>

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

I 目的・設計・回答状況

◆ 目 的

任期満了に伴う長野県知事選挙は7月23日告示、8月9日投開票の日程で実施されます。2010年の初当選以来、4期16年務めてきた阿部守一知事による県政の施策に対し、県民はどのような評価をし、選ばれる新たな知事にどのような将来像を託すのかが注目されます。本県は人口減少や深刻な担い手不足、物価高、医療・介護体制の確保など、多くの構造的課題に直面しています。

現時点では、現職の阿部守一氏と新人の武田良介氏の無所属2人が立候補を表明しています。本調査は、告示を前に、有権者の暮らしの実感や重点政策への評価、次の知事に求める資質などを客観的に探り、これからの県政のあり方を考える材料とすることを目的に実施しました。

◆ 設 計

▽調査時期 2026（令和8）年6月5日（調査票発送）～6月30日（投函締め切り）

▽調査対象 長野県内に住む18歳以上の男女1,000人

▽抽出方法 層化三段無作為抽出法。市町村の選挙人名簿から無作為抽出

▽調査地点 19市5町6村の計30市町村

▽調査方法 郵送方式。調査票を郵送し、回答は郵送、インターネット、ファクスで回収

◆ 回答状況

▽有効回答 611人（男性276人 女性312人 その他・回答しない23人）

▽回 答 率 61.1%

〔回収方法別の内訳〕（ ）内は比率

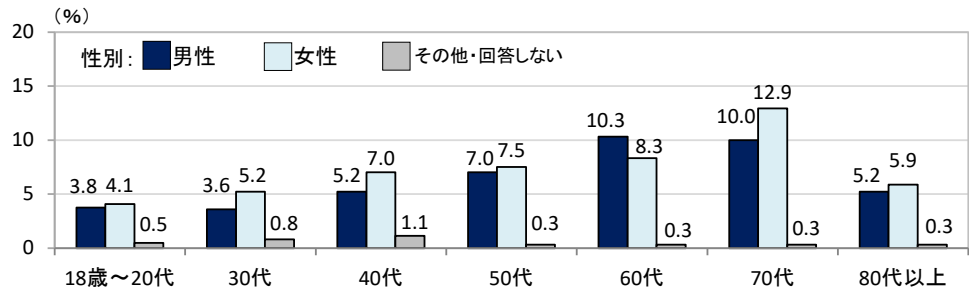
- ・ 郵送 415人（67.9%）
- ・ インターネット 181人（29.6%）
- ・ ファクス 15人（2.5%）

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が100にならない場合がある。

有効回答の内訳

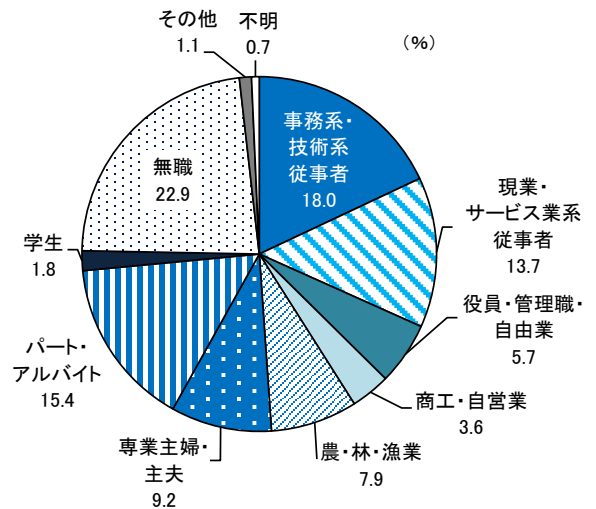
【年代と性別】

		合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体	(人)	611	51	59	82	91	116	142	70
	(%)	100.0	8.3	9.7	13.4	14.9	19.0	23.2	11.5
性別	男性	(人)	276	23	22	32	43	63	32
		(%)	45.2	3.8	3.6	5.2	7.0	10.3	5.2
	女性	(人)	312	25	32	43	46	51	36
		(%)	51.1	4.1	5.2	7.0	7.5	8.3	5.9
	その他・回答しない	(人)	23	3	5	7	2	2	2
		(%)	3.8	0.5	0.8	1.1	0.3	0.3	0.3



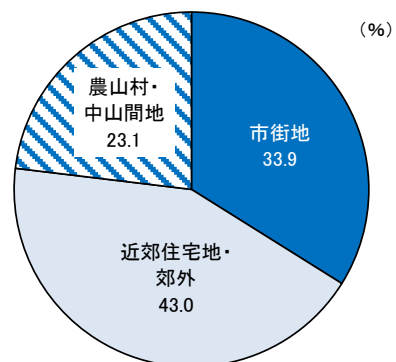
【職業】

	(人)	(%)
事務系・技術系従事者	110	18.0
現業・サービス業系従事者	84	13.7
役員・管理職・自由業	35	5.7
商工・自営業	22	3.6
農・林・漁業	48	7.9
専業主婦・主夫	56	9.2
パート・アルバイト	94	15.4
学生	11	1.8
無職	140	22.9
その他	7	1.1
不明	4	0.7
全体	611	100.0

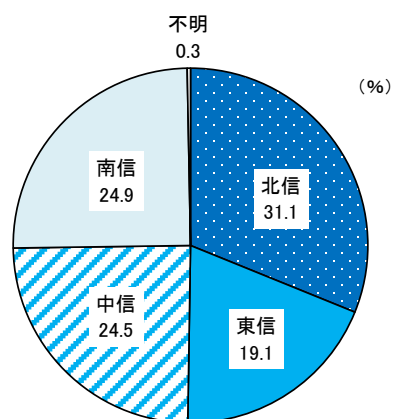


【地域性】

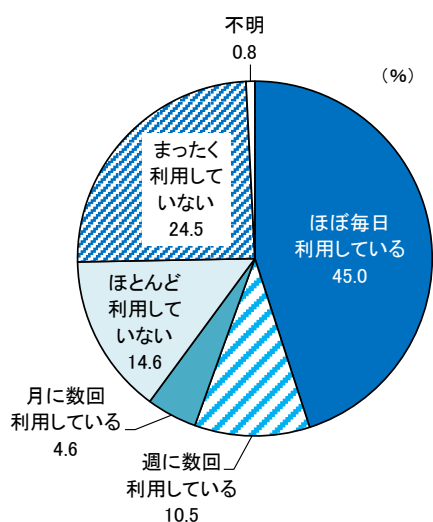
市街地	207	33.9
近郊住宅地・郊外	263	43.0
農山村・中山間地	141	23.1
全体	611	100.0



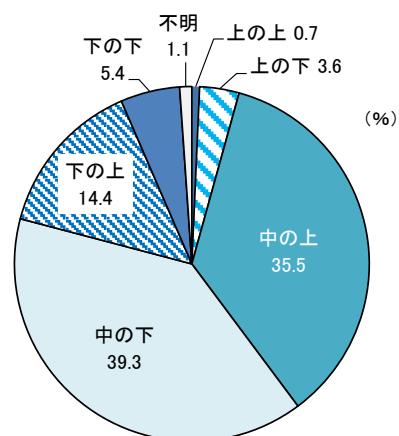
【地域】	(人)	(%)
北信	190	31.1
東信	117	19.1
中信	150	24.5
南信	152	24.9
不明	2	0.3
全体	611	100.0



【SNSの利用頻度】	(人)	(%)
ほぼ毎日利用している	275	45.0
週に数回利用している	64	10.5
月に数回利用している	28	4.6
ほとんど利用していない	89	14.6
まったく利用していない	150	24.5
不明	5	0.8
全体	611	100.0



【暮らし向き】	(人)	(%)
上の上	4	0.7
上の下	22	3.6
中の上	217	35.5
中の下	240	39.3
下の上	88	14.4
下の下	33	5.4
不明	7	1.1
全体	611	100.0



Ⅱ 調査結果

(ⅰ) 単純集計

問1 あなたは、今夏行われる長野県知事選挙について、どの程度関心がありますか。

	(人)	(%)
・非常に関心がある	83	13.6
・ある程度関心がある	348	57.0
・あまり関心がない	144	23.6
・まったく関心がない	28	4.6
・わからない	8	1.3

問2 あなたが、今回の長野県知事選で特に重視したい政策分野を、次の中から3つまで選んでください。

	(人)	(%)
・物価高・生活支援	399	65.3
・医療・介護	314	51.4
・雇用・賃上げ・地域経済	200	32.7
・子育て・少子化対策	179	29.3
・人口減少対策	121	19.8
・防災・災害対策	118	19.3
・公共交通対策	100	16.4
・農林業振興	84	13.7
・教育・高校改革	51	8.3
・防犯対策	48	7.9
・多文化共生・外国人政策	40	6.5
・観光振興	37	6.1
・脱炭素・環境政策	32	5.2
・行財政改革	23	3.8
・その他	17	2.8
・特にない	6	1.0
・わからない	2	0.3
・不明	1	0.2

問3 あなたは、現在の長野県政を身近に感じていますか。

	(人)	(%)
・非常に身近に感じる	20	3.3
・ある程度身近に感じる	224	36.7
・あまり身近に感じない	293	48.0
・まったく身近に感じない	55	9.0
・わからない	19	3.1

問4 現在の長野県内での暮らし向きについて、あなたの実感に近いものを選んでください。

	(人)	(%)
・とても良い	47	7.7
・ある程度良い	402	65.8
・あまり良くない	123	20.1
・まったく良くない	12	2.0
・わからない	23	3.8
・不明	4	0.7

問5 今後の長野県の将来について、あなたはどの程度不安を感じていますか。

	(人)	(%)
・強く不安を感じる	67	11.0
・ある程度不安を感じる	334	54.7
・あまり不安を感じない	171	28.0
・まったく不安を感じない	8	1.3
・わからない	26	4.3
・不明	5	0.8

問6 長野県では人口減少や高齢化が進み、地域の担い手不足、公共サービスの維持などへの不安が広がっています。あなたはどの程度不安を感じていますか。

	(人)	(%)
・強く不安を感じる	221	36.2
・ある程度不安を感じる	321	52.5
・あまり不安を感じない	52	8.5
・まったく不安を感じない	2	0.3
・わからない	11	1.8
・不明	4	0.7

問7 少子化に伴い、長野県では公立高校の再編や統合が進められています。一方で、地域から高校がなくなること、若者流出や地域の衰退につながるなどの不安もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

	(人)	(%)
・一定の再編はやむを得ない	391	64.0
・地域の高校をできるだけ維持すべき	149	24.4
・統合・再編を積極的に進めるべき	43	7.0
・わからない	23	3.8
・不明	5	0.8

問8 長野県は「ゼロカーボン政策」を進めています。再生可能エネルギーの導入拡大や脱炭素化を進める一方、生活負担や景観・環境への影響を懸念する声もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

	(人)	(%)
・負担とのバランスを取りながら進めるべき	310	50.7
・生活負担を優先し慎重に進めるべき	185	30.3
・多少負担が増えても積極的に進めるべき	70	11.5
・わからない	42	6.9
・不明	4	0.7

問9 長野県内では介護、観光、農業などの分野で外国人労働者が増えています。一方で、地域でのルールや共生のあり方を不安視する声もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

	(人)	(%)
・一定のルール整備を前提に受け入れるべき	326	53.4
・受け入れは慎重に進めるべき	184	30.1
・受け入れを増やすべきではない	52	8.5
・地域社会の担い手として積極的に受け入れるべき	31	5.1
・わからない	13	2.1
・不明	5	0.8

問10 あなたは、次に挙げる長野県の課題や施策の現状を、評価しますか。評価しませんか。A～G それぞれにつき、該当する項目を選択してください。

A 人口減少対策

(若者流出、担い手不足、移住促進への対応など)

	(人)	(%)
・大いに評価する	18	2.9
・ある程度評価する	230	37.6
・あまり評価しない	210	34.4
・まったく評価しない	35	5.7
・わからない	112	18.3
・不明	6	1.0

B 物価高対策や生活支援策

(価格高騰対策、子育て支援、若者支援など)

	(人)	(%)
・大いに評価する	25	4.1
・ある程度評価する	241	39.4
・あまり評価しない	227	37.2
・まったく評価しない	49	8.0
・わからない	62	10.1
・不明	7	1.1

C 医療・介護体制の確保

(地域医療、医師不足、高齢者支援など)

	(人)	(%)
・大いに評価する	37	6.1
・ある程度評価する	245	40.1
・あまり評価しない	207	33.9
・まったく評価しない	37	6.1
・わからない	80	13.1
・不明	5	0.8

D 公共交通維持の取り組み(路線バスの減便・廃止、ローカル鉄道の存続協議、移動手段の確保など)

	(人)	(%)
・大いに評価する	28	4.6
・ある程度評価する	200	32.7
・あまり評価しない	212	34.7
・まったく評価しない	74	12.1
・わからない	89	14.6
・不明	8	1.3

E 防災・減災対策(豪雨災害、地震への備えなど)

	(人)	(%)
・大いに評価する	38	6.2
・ある程度評価する	334	54.7
・あまり評価しない	120	19.6
・まったく評価しない	26	4.3
・わからない	85	13.9
・不明	8	1.3

F 産業振興や地域経済政策(中小企業支援、観光客増加や人手不足への対応、賃上げなど)

	(人)	(%)
・大いに評価する	20	3.3
・ある程度評価する	173	28.3
・あまり評価しない	226	37.0
・まったく評価しない	56	9.2
・わからない	131	21.4
・不明	5	0.8

G 県政運営の透明性や説明責任(県民への説明、情報公開、政策決定過程の見えやすさなど)

	(人)	(%)
・大いに評価する	25	4.1
・ある程度評価する	203	33.2
・あまり評価しない	180	29.5
・まったく評価しない	61	10.0
・わからない	138	22.6
・不明	4	0.7

問11 次の長野県知事に、特に求める資質や姿勢を2つまで選んでください。

	(人)	(%)
・政策を実行する力	271	44.4
・誠実さ・信頼感	255	41.7
・市町村との連携力	169	27.7
・国との調整力・発信力	147	24.1
・改革を進める力	92	15.1
・弱い立場への配慮	91	14.9
・将来像を示す力	81	13.3
・強いリーダーシップ	73	11.9
・その他	6	1.0
・わからない	7	1.1
・不明	2	0.3

問12 次の長野県知事に求める県政運営の方向性として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

	(人)	(%)
・基本路線は維持しつつ、一部見直してほしい	282	46.2
・現在の県政運営をおおむね継続してほしい	199	32.6
・現在の県政運営を大きく転換してほしい	39	6.4
・わからない	86	14.1
・不明	5	0.8

問13 あなたは、高市早苗政権を支持しますか。支持しませんか。

	(人)	(%)
・大いに支持する	76	12.4
・ある程度支持する	273	44.7
・あまり支持しない	128	20.9
・まったく支持しない	84	13.7
・わからない	48	7.9
・不明	2	0.3

問14 あなたは現在、どの政党・政治団体を支持していますか。

	(人)	(%)
・自民党	179	29.3
・中道改革連合	35	5.7
・立憲民主党	21	3.4
・参政党	20	3.3
・国民民主党	19	3.1
・チームみらい	18	2.9
・日本維新の会	17	2.8
・れいわ新選組	12	2.0
・共産党	11	1.8
・公明党	8	1.3
・日本保守党	7	1.1
・減税日本・ゆうこく連合	3	0.5
・社民党	2	0.3
・その他の政党・政治団体	4	0.7
・支持する政党はない	193	31.6
・わからない	55	9.0
・不明	7	1.1

(ii) 概要

有効回答 611 人

長野県知事選挙への関心度

問1 あなたは、今夏行われる長野県知事選挙について、どの程度関心がありますか。

◆ 知事選への関心「ある」7割台

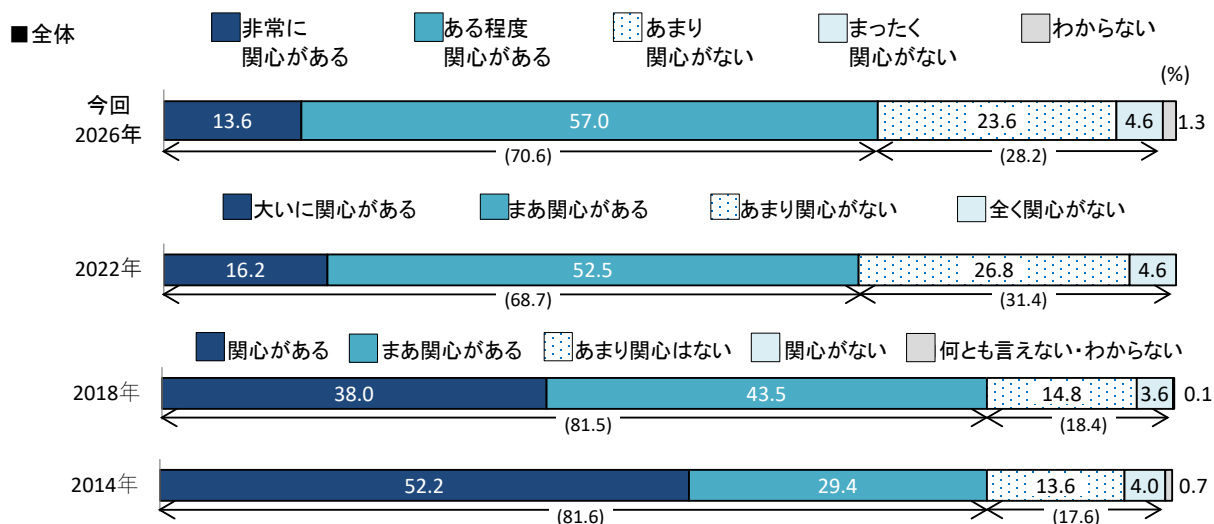
集計表28～29ページ

前回からほぼ横ばいも、8年前・12年前の8割台には及ばず

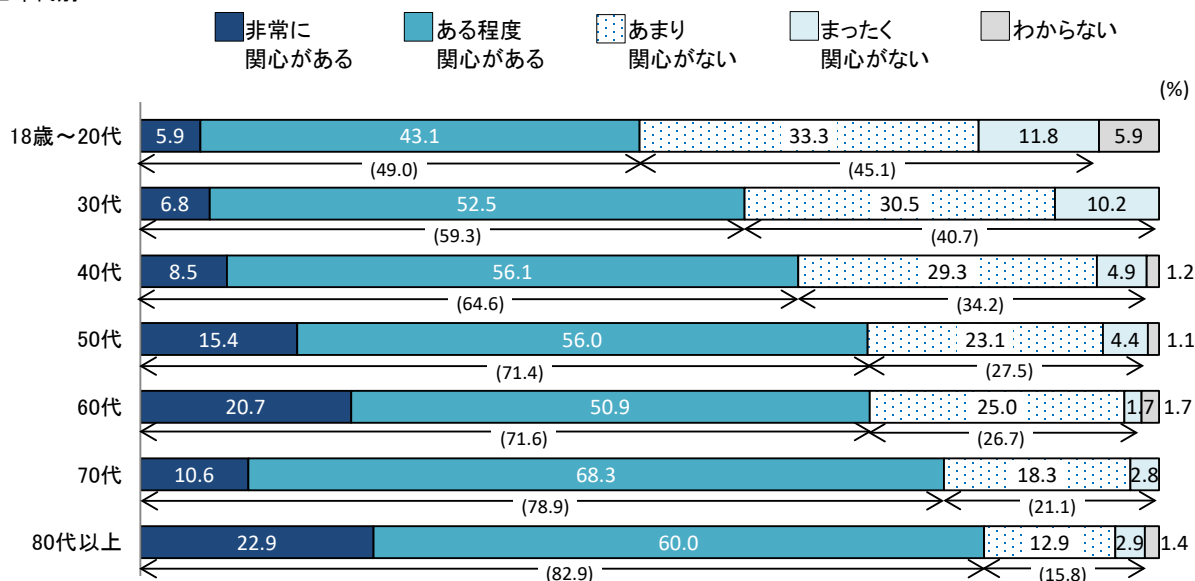
今夏行われる長野県知事選挙について、「非常に」13.6%、「ある程度」57.0%を合わせた「関心がある」層は70.6%に達した。前回（2022年）調査の68.7%から1.9ポイント増のほぼ横ばいとなったが、過去4回分の変遷で見ると、2014年（81.6%）、2018年（81.5%）の8割を超えていた時期に比べると、県民の関心度は依然として低い水準にある。

年代別では、70代（78.9%）や80代以上（82.9%）で関心が高い一方、18歳～20代は49.0%と半数に届かず、30代も59.3%にとどまった。高齢層と若年層で30ポイント以上の大きな「関心格差」が生じている状況は過去調査と同様の傾向を示している。

SNS利用頻度別でみると、「利用していない」層の関心度が76.2%であるのに対し、「利用している」層は66.8%にとどまり、SNSを日常的に利用する層への情報浸透が課題となっている。地域別では、東信（76.1%）や中信（74.0%）での関心が比較的高く、北信（66.3%）と南信（68.4%）を上回っている。



■年代別



特に重視したい政策分野

問2 あなたが、今回の長野県知事選で特に重視したい政策分野を、次の中から3つまで選んでください。

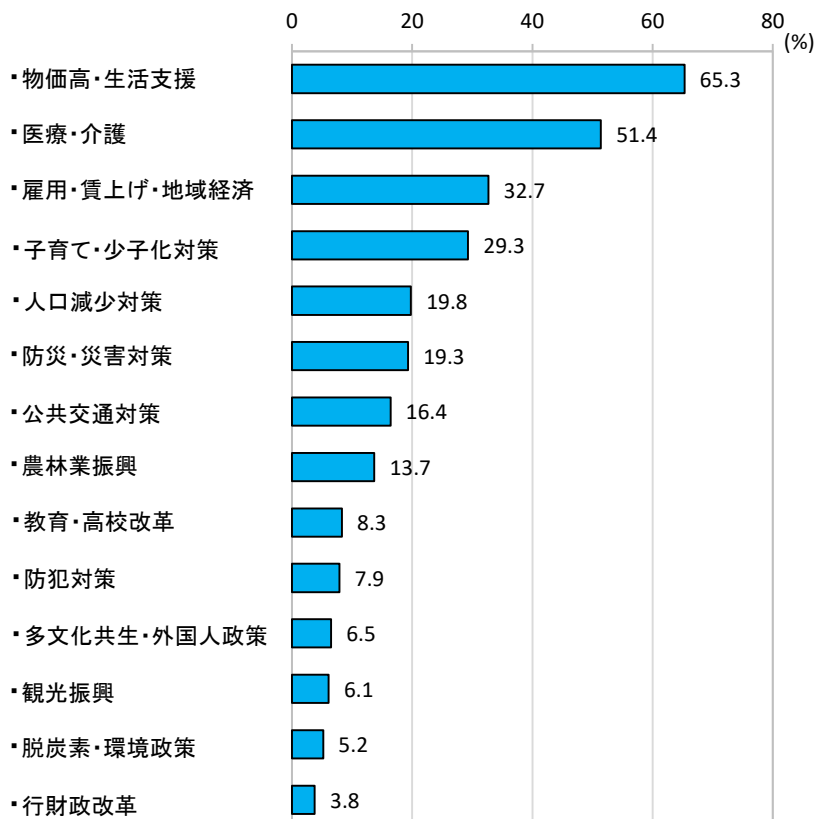
◆ 重視する政策、トップは「物価高・生活支援」

集計表30～33ページ

子育て世代は「少子化対策」を最重視

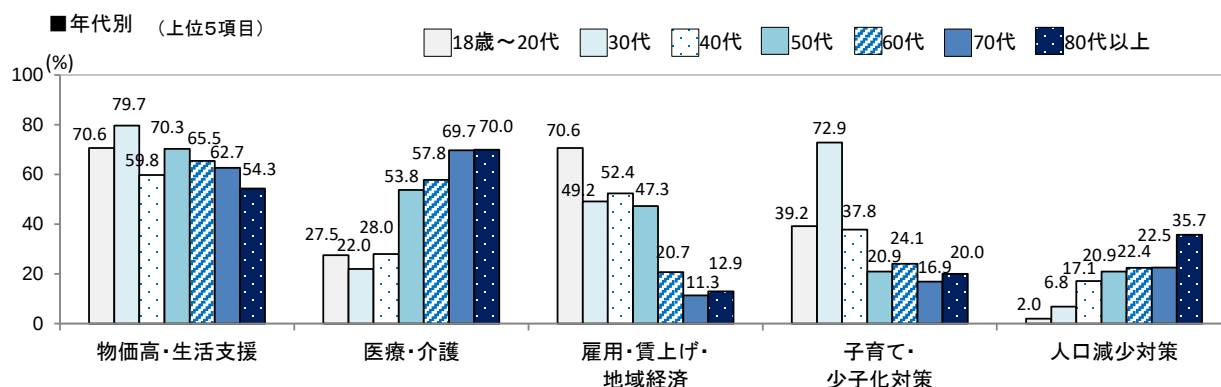
今回の知事選で特に重視したい政策（3つまで選択）は、「物価高・生活支援」が65.3%で最も多く、次いで「医療・介護」が51.4%、「雇用・賃上げ・地域経済」32.7%、「子育て・少子化対策」29.3%の順となった。前回（2022年）トップの「福祉・介護・医療」を抜き、物価高騰への対応が県民の最優先事項となっている。

男女別では、「医療・介護」について女性（59.6%）が男性（43.1%）を16.5ポイント上回った。年代別では、30



代で「子育て・少子化対策」が72.9%と突出して高く、18歳～20代では「雇用・賃上げ・地域経済」が70.6%に達するなど、世代によって知事に求める優先課題が鮮明に分かれた。

職業別では、「農・林・漁業」に従事する層の60.4%が「農林業振興」を挙げており、全体（13.7%）を大きく上回った。地域別では、南信（37.5%）において「子育て・少子化対策」への要望が他地域より強い傾向にある。



現在の長野県政への親近感

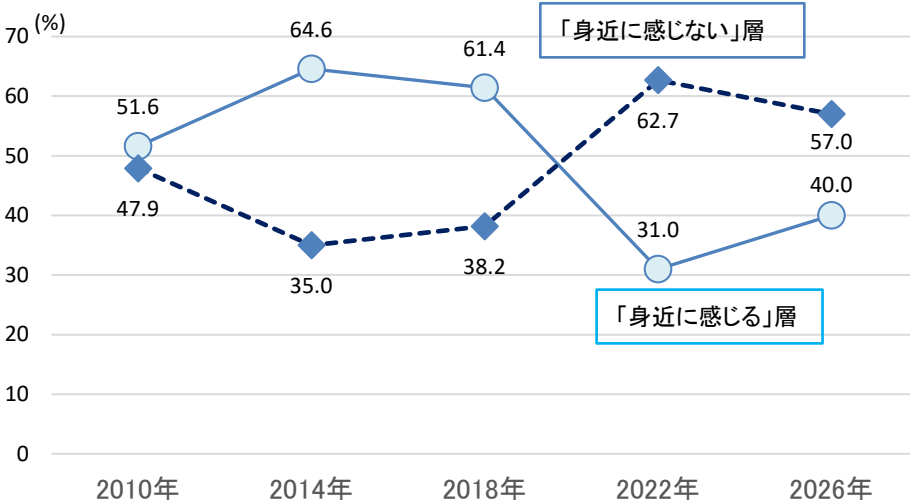
問3 あなたは、現在の長野県政を身近に感じていますか。

◆ 県政を「身近に感じる」4割。前回底値から回復も、12年前のピーク比では大幅減

集計表34ページ

現在の長野県政を「非常に身近に感じる」3.3%と「ある程度身近に感じる」36.7%を合わせた「身近に感じる」層は40.0%であった。前回（2022年）調査の31.0%（「感じる」と「まあ感じる」の合計）からは9.0ポイント上昇し、一定の回復が見られる。しかし、過去の変遷

■長野県政への親近感推移

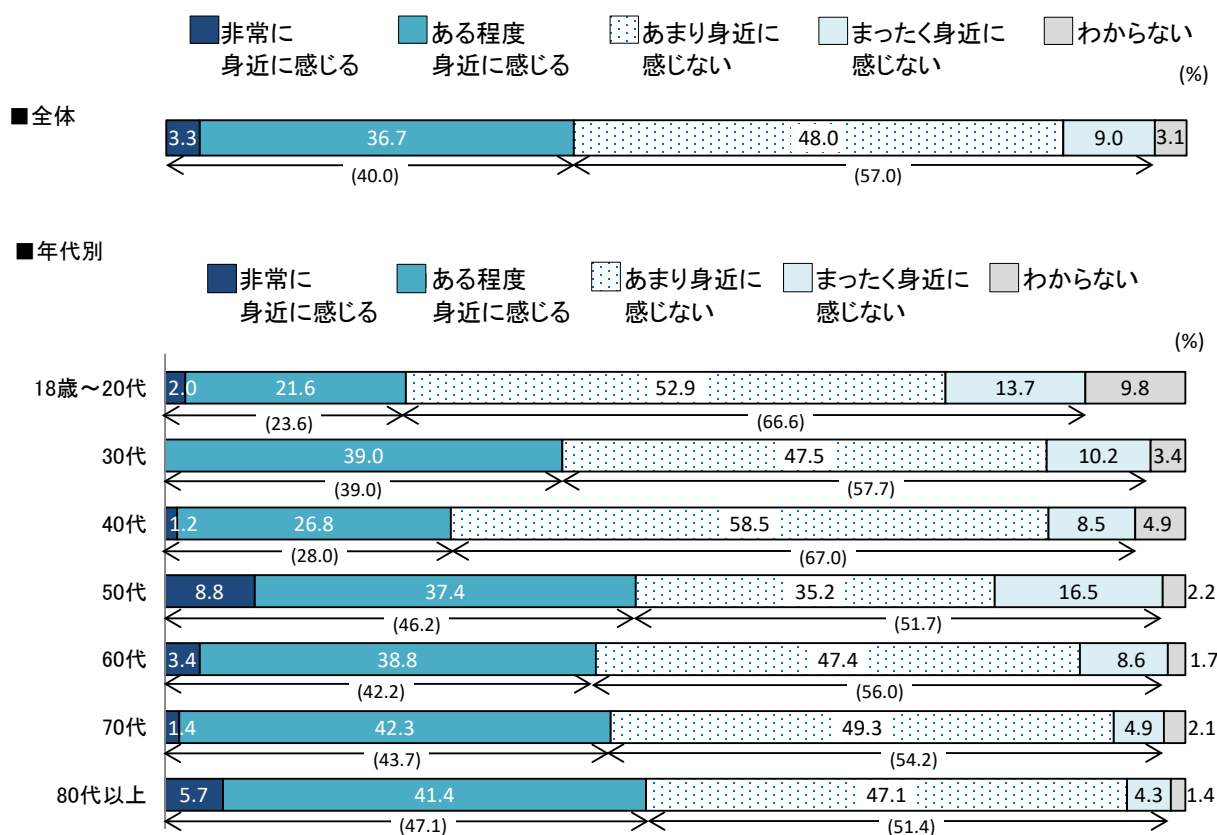


をたどると、2010年（51.6%）から2014年（64.6%）にかけて上昇し、2018年（61.4%）まで6割を維持していたが、前回2022年に3割台まで急落した経緯がある。今回はその底値からは脱したものの、12年前のピーク時に比べると24.6ポイント低く、県

民と県政の距離は依然として開いたままである。

年代別では、70代（43.6%）や80代以上（47.1%）で親近感が高い一方、18歳～20代では「身近に感じない（あまり＋まったく）」とする割合が66.6%に達し、若年層の3人に2人が県政との距離を感じている実態が浮き彫りとなった。また、40代においても「身近に感じない」層が67.0%に上り、現役世代への浸透に課題を残している。

住まいの地域性別では、「身近に感じる」は農山村・中山間地が48.3%に対し、市街地は34.8%にとどまった。生活圏が比較的小さい地域ほど県政を身近に感じる傾向にある。地域別では、東信（35.1%）において、北信（42.6%）や中信（43.3%）に比べ親近感が低い。



長野県内での暮らし向きの実感

問4 現在の長野県内での暮らし向きについて、あなたの実感に近いものを選んでください。

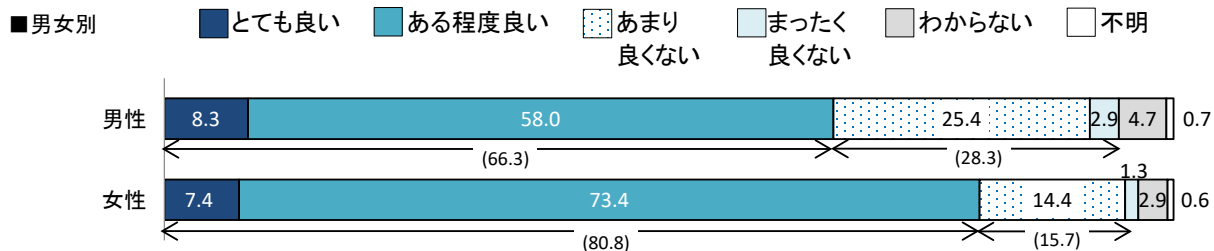
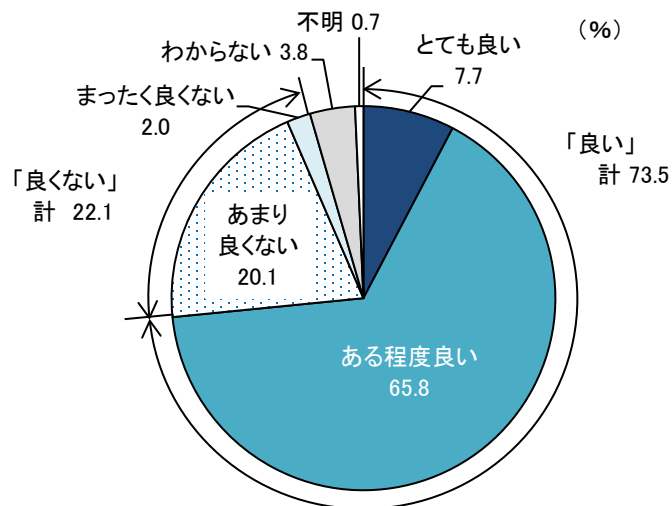
◆ 暮らし向き「良い」が7割超

集計表35ページ

前回から大幅増も、生活防衛意識の反映か

現在の暮らし向きについて、「とても良い」7.7%、「ある程度良い」65.8%を合わせた「良い」とする層は73.5%に達した。

男女別では、女性（80.8%）が男性（66.3%）を14.5ポイント上回り、女性の方が生活実感にゆとりを感じている。年代別では40代（80.5%）が最も高く、働き盛り世代の一定の安定が伺える。SNS利用頻度別では、「利用している」層の方が「利用していない」層よりも実感が良い。



今後の長野県の将来への不安

問5 今後の長野県の将来について、あなたはどの程度不安を感じていますか。

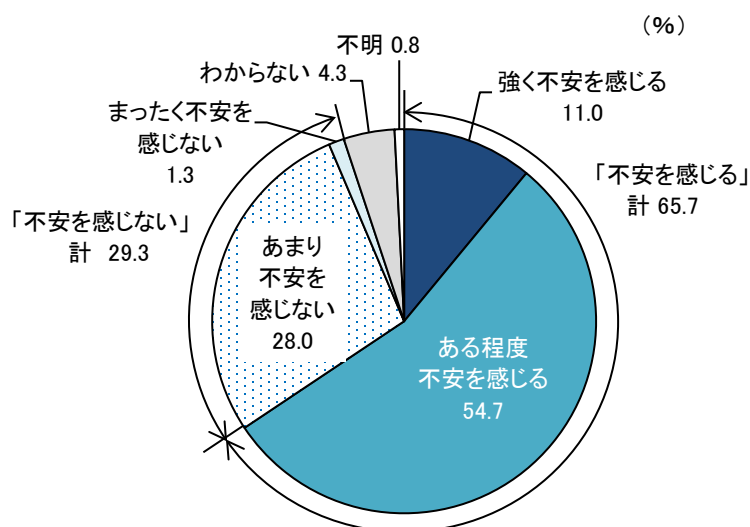
◆ 将来への不安、6割強が抱く。30代で突出する危機意識

集計表36～37ページ

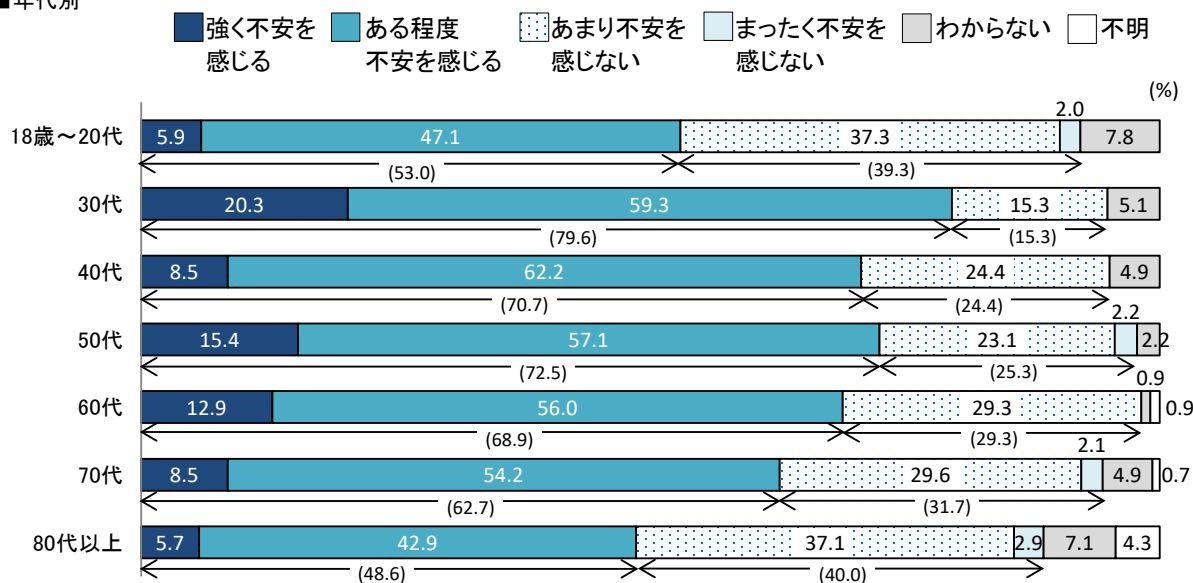
今後の長野県の将来について「不安を感じる（強く＋ある程度）」と答えた人は65.7%であった。これに対し「不安を感じない（あまり＋まったく）」は29.3%にとどまった。

年代別では30代が79.6%と最も高く、次いで50代の72.5%、40代の70.7%と続く。将来の生活や地域の存続に直接向き合う現役世代ほど不安を強く感じており、特に30代の危機意識は全体を13.9ポイント上回った。

地域別では、南信（69.7%）や中信（68.0%）において不安を感じる割合が比較的高く、地域ごとの将来展望に差が見られる。SNS利用頻度別では、「利用している」層が「利用していない」層を大きく上回って不安を感じている。



■ 年代別



人口減少や担い手不足等への不安

問6 長野県では人口減少や高齢化が進み、地域の担い手不足、公共サービスの維持などへの不安が広がっています。あなたはどの程度不安を感じていますか。

◆ 地域の担い手不足に9割近くが不安。全県・全世代で危機感を共有

集計表38～39ページ

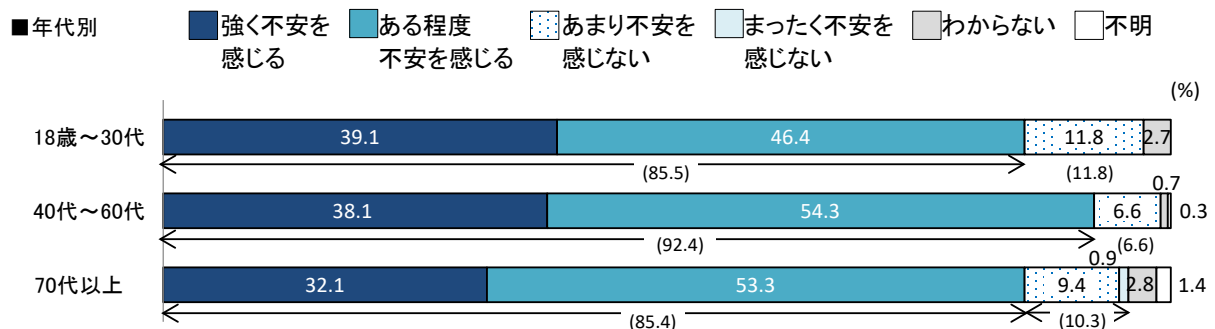
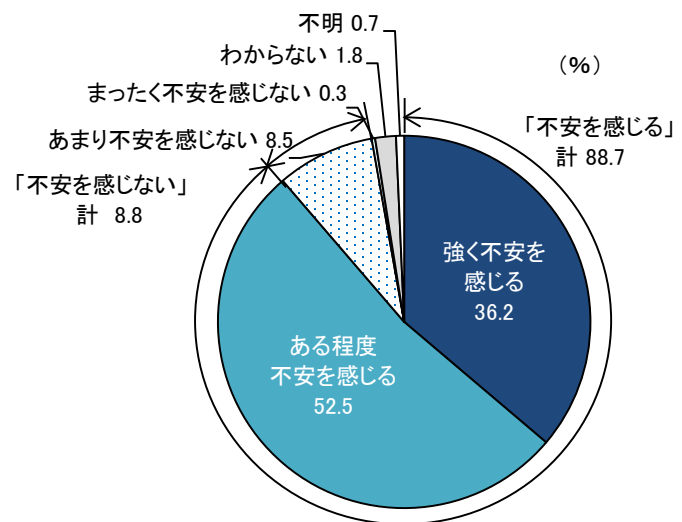
人口減少や高齢化が進む中、地域の担い手不足、公共サービスの維持について「不安を感じる（強く＋ある程度）」との回答は88.7%に達した。

年代別では、40代から60代にかけての現役層で「不安」とする割合が9割を超えた。職業別では、事務系・技術系（88.1%）や現業・サービス業系（92.9%）、無職（84.3%）といずれの属性でも極めて高い。地域別では、南信（90.1%）が最も高く、いずれの地域でも概ね9割近い数値となった。

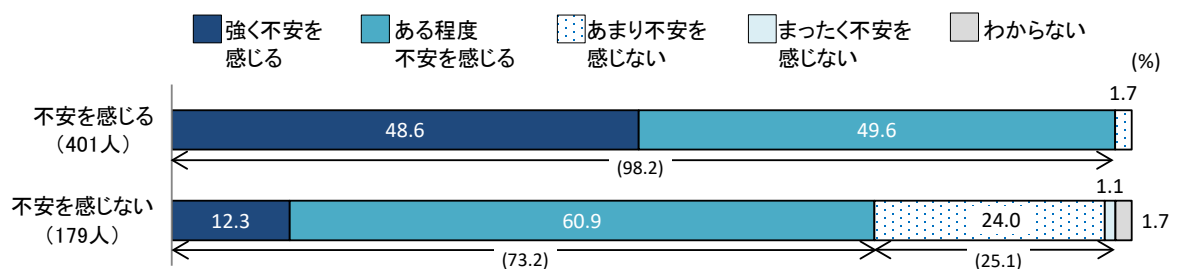
住まいの地域性別では、市街地（89.4%）、近郊住宅地・郊外（88.3%）、農山村・中山間地（88.7%）といずれも同様に高く、居住環境を問わず全県的な共通認識となっていることが裏付けられた。

住まいの地域性別では、市街地（89.4%）、近郊住宅地・郊外（88.3%）、農山村・中山間地（88.7%）といずれも同様に高く、居住環境を問わず全県的な共通認識となっていることが裏付けられた。

他設問とのクロス集計では、長野県の将来不安（問5）において「不安を感じる」層の98.2%が、地域の担い手不足についても「不安を感じる」と回答している。個別具体的な人手不足の問題が、県全体の将来不安を構成する最大要因となっている。



■ クロス集計 問6「担い手不足への不安」×問5「将来への不安」



公立高校の再編・統合

問7 少子化に伴い、長野県では公立高校の再編や統合が進められています。一方で、地域から高校がなくなること、若者流出や地域の衰退につながるなどの不安もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

◆ 高校再編「やむを得ない」が6割

集計表40～41ページ

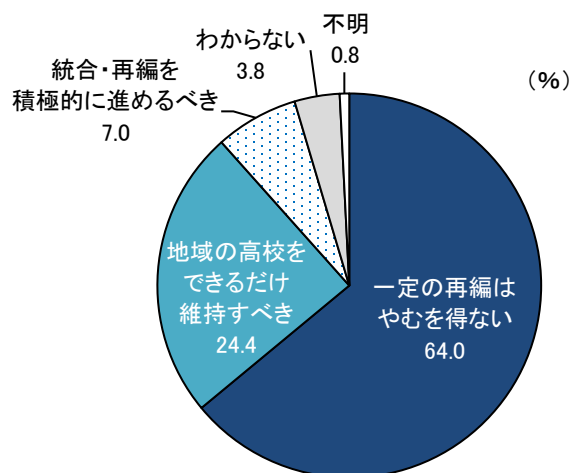
維持を求める声は女性や高齢層に根強く

少子化に伴う公立高校の再編・統合についての考えは、「一定の再編はやむを得ない」が64.0%で最多となった。「地域の高校をできるだけ維持すべき」は24.4%、「統合・再編を積極的に進めるべき」は7.0%であった。

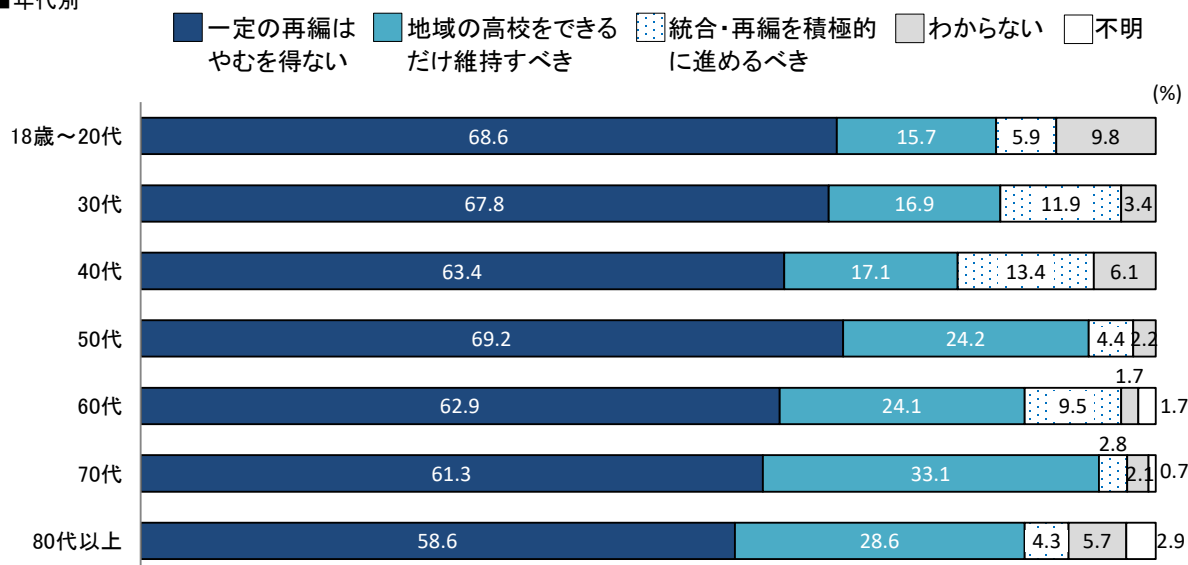
年代別では、30代や40代の保護者世代で「維持」よりも「再編はやむを得ない」とする現実的な判断が目立つ一方、70代では「維持」を求める声が3割を超えた。性別では、女性が男性よりも「維持すべき」と答える割合が10.7ポイント高い。

住まいの地域性別では、「市街地」居住者の「維持すべき（26.6%）」が、「農山村・中山間地」（22.7%）をわずかに上回った。SNSを利用しない層では「維持すべき」との回答が全体平均より高く、伝統的な地域コミュニティへの意識が伺える。

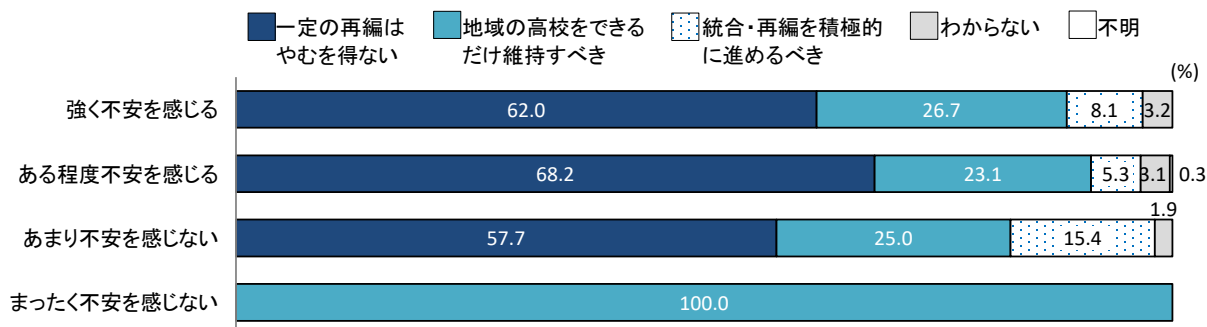
他設問とのクロス集計では、担い手不足への不安（問6）を「強く感じる」層において、「地域の高校を維持すべき」とする割合が26.7%と全体より高く、高校の存在を地域維持の最後の砦として捉えている層が一定数存在することが示唆された。



■ 年代別



■クロス集計 問7「公立高校の再編・統合」×問6「担い手不足への不安」



ゼロカーボン政策の進め方

問8 長野県は「ゼロカーボン政策」を進めています。再生可能エネルギーの導入拡大や脱炭素化を進める一方、生活負担や景観・環境への影響を懸念する声もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

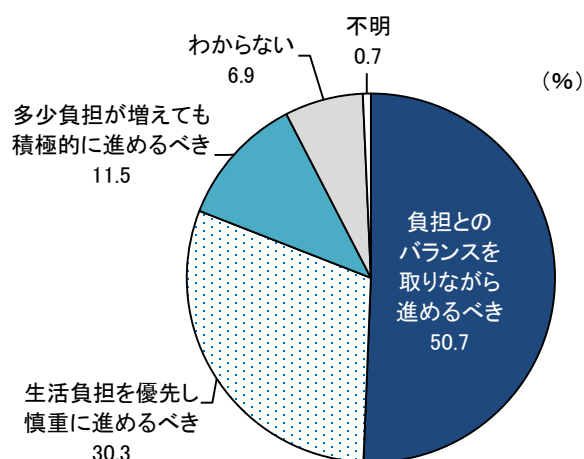
◆ 脱炭素は「負担とのバランス」重視。中南信地域で慎重姿勢が目立つ

集計表42～43ページ

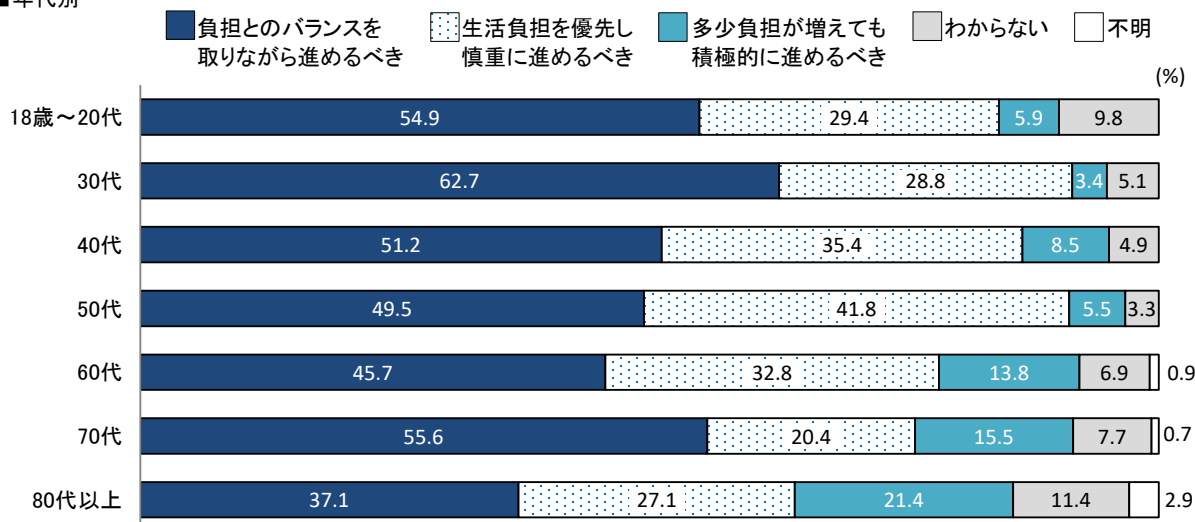
長野県が進める「ゼロカーボン政策」について、「負担とのバランスを取りながら進めるべき」が50.7%と過半数を占めた。「生活負担を優先し慎重に進めるべき」は30.3%、「多少負担が増えても積極的に進めるべき」は11.5%であった。

年代別では、30代でバランス重視の姿勢が最も強い一方、70代や80代以上では積極推進派が全体平均を上回る。男女別では、男性は慎重派が女性より10.9ポイント高い。

地域別では、東信でバランス重視が突出して高い一方、中信や南信では慎重派が東信や北信に比べて多い。地域による環境政策への温度差が見られた。



■年代別



外国人労働者の受け入れ

問9 長野県内では介護、観光、農業などの分野で外国人労働者が増えています。一方で、地域でのルールや共生のあり方を不安視する声もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

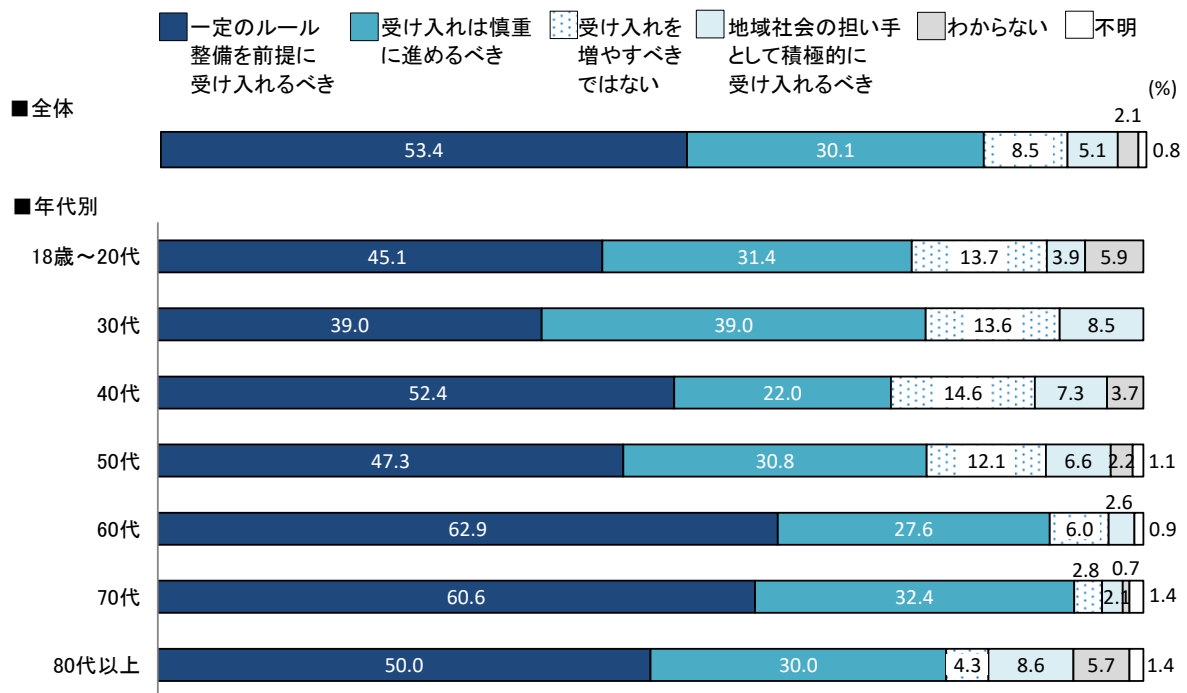
◆ 外国人受け入れ「ルール整備」が前提。現役層に根強い慎重論

集計表44～45ページ

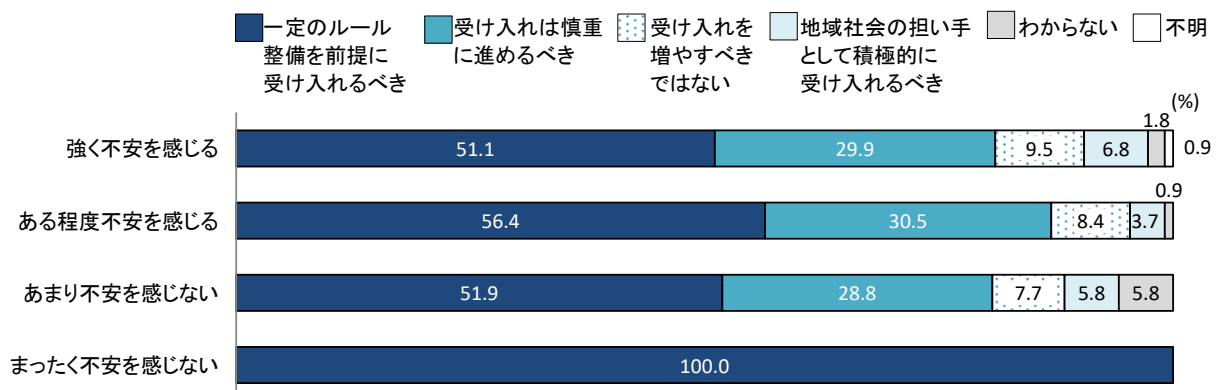
外国人労働者の受け入れについて、「一定のルール整備を前提に受け入れるべき」が53.4%で最も多かった。「受け入れは慎重に進めるべき」は30.1%。「積極的に受け入れるべき」は5.1%にとどまった。

年代別では、60代や70代で「ルール整備」への支持が高い。一方、18歳～20代や30代、40代では「受け入れを増やすべきではない」とする声が全体平均（8.5%）を上回り、雇用や治安への懸念が表れているとみられる。

他設問とのクロス集計では、担い手不足への不安（問6）に「強く不安を感じる」層において、「積極的に受け入れるべき」とする回答が6.8%と全体よりやや高く、人手不足への危機感が期待を押し上げる要因とも受け取れる。



■クロス集計 問9「外国人労働者の受け入れ」×問6「担い手不足への不安」



長野県の課題や施策の現状に対する評価

問 10 あなたは、次に挙げる長野県の課題や施策の現状を、評価しますか。評価しませんか。
A～Gそれぞれにつき、該当する項目を選択してください。

◆「防災・減災対策」高い評価

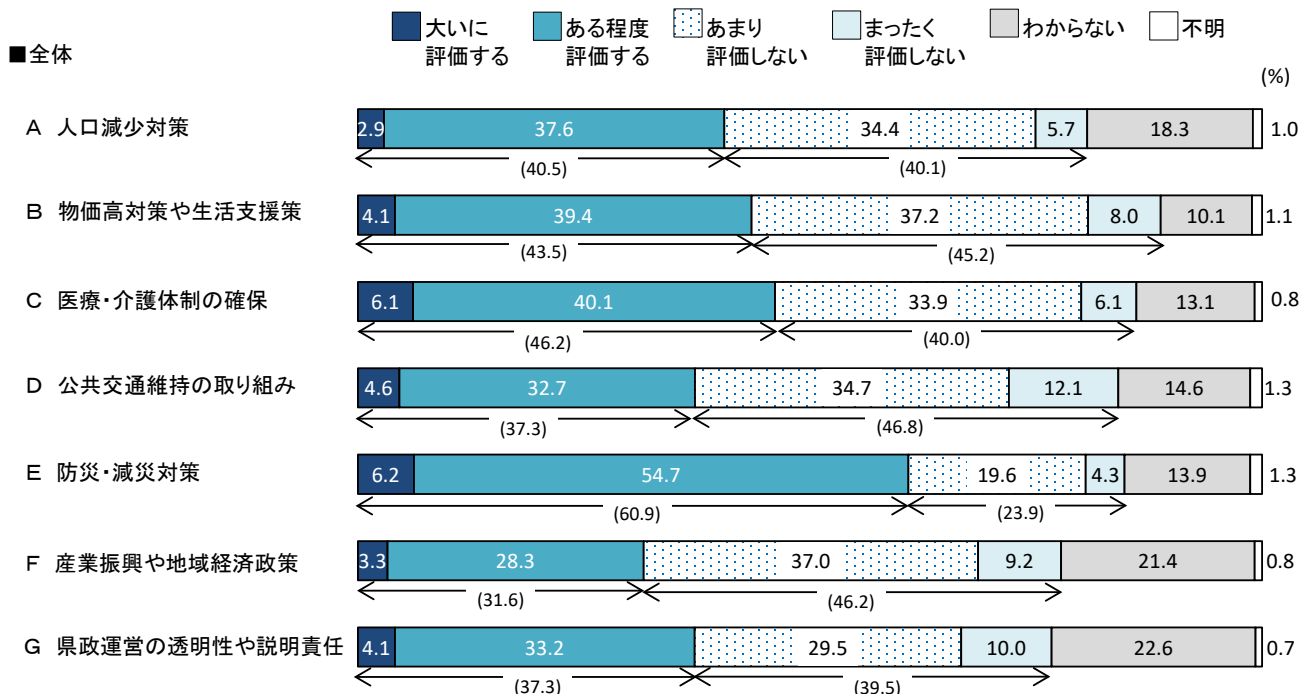
集計表46～59ページ

一方で「産業振興や地域経済政策」に厳しい視線

問 10 では、現在の長野県政が抱える主要な課題や施策 7 項目について、県民が現状をどのように評価しているかを尋ねた。調査の結果、項目によって評価の明暗が鮮明に分かれる形となった。

7 項目の中で最も評価が高かったのは「防災・減災対策（E）」で、「評価する（大いに＋ある程度）」とする回答が 60.9%に達し、唯一 6 割を超えた。次いで「医療・介護体制の確保（C）」が 46.2%で続いており、県民の安全・安心に直結する分野では堅実な信頼を得ている。

一方、最も評価が低かったのは「産業振興や地域経済政策（F）」の 31.6%で、評価しない割合（46.2%）が 14.6 ポイント上回る結果となった。「人口減少対策（A）」や「物価高対策や生活支援策（B）」でも評価が拮抗しており、長期化する経済課題や構造的な不安に対し、県民の視線の厳しさが表れた。



問 10A 人口減少対策（若者流出、担い手不足、移住促進への対応など）

◆人口減少対策、評価は「二分」。若年層の評価は3割に届かず

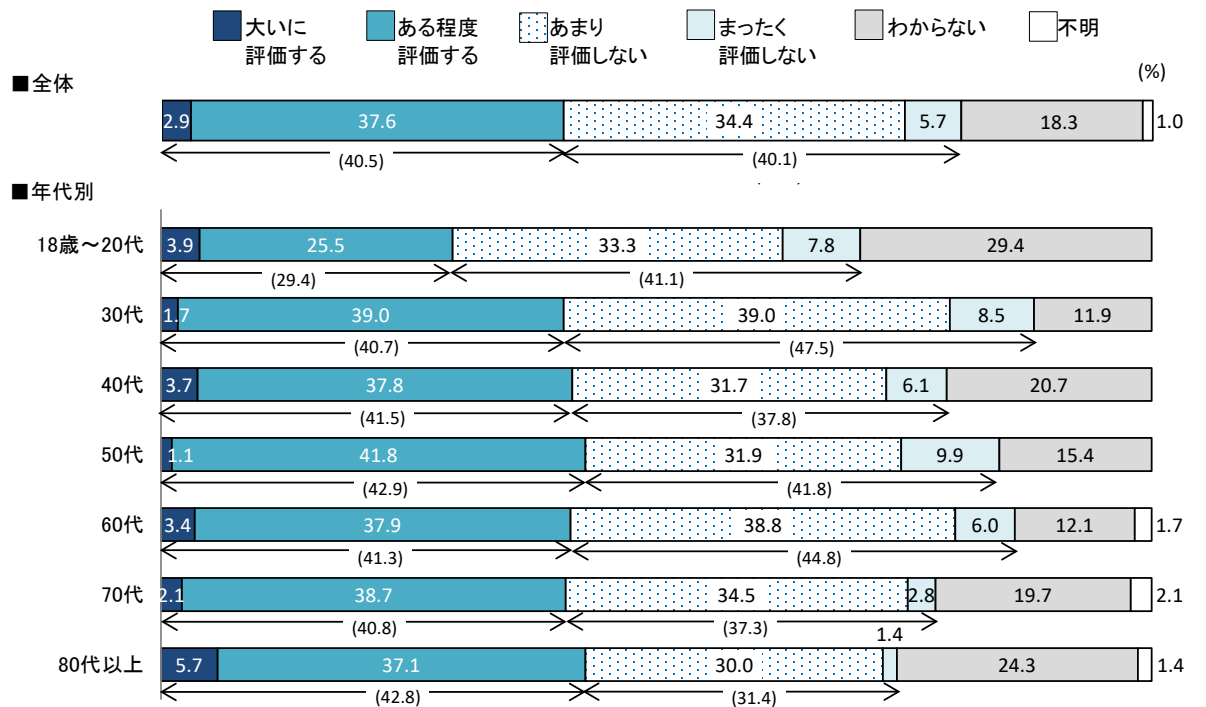
集計表46～47ページ

県政の人口減少対策について、「評価する（大いに＋ある程度）」は40.5%、「評価しない（あまり＋まったく）」は40.1%となり、肯否が割れ、ほぼ同数となった。

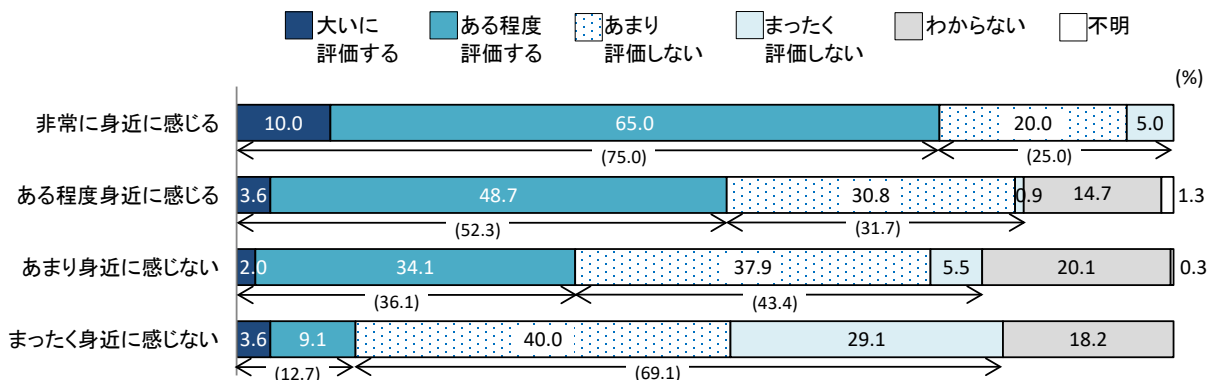
年代別では、18歳～20代において「評価する」が29.4%にとどまり、全世代で最も低い。住まいの地域性別では、市街地（44.4%）に比べ、農山村・中山間地（31.9%）での評価が低く、効果を実感できていない現状が伺える。

地域別では、「評価する」は南信（40.8%）、北信（42.1%）で「評価しない」をそれぞれ5.2ポイント、3.7ポイント上回った。「評価しない」は東信（42.7%）、中信（44.7%）で「評価する」をそれぞれ6.0ポイント、3.4ポイント上回り、地域差が見られた。

他設問とのクロス集計では、県政を「ある程度身近に感じる（問3）」層の52.3%が本施策を評価しているのに対し、「あまり身近に感じない」層では36.1%にとどまる。県政との心理的距離が評価に影響している。



■クロス集計 問10A「人口減少対策の評価」×問3「県政への親近感」



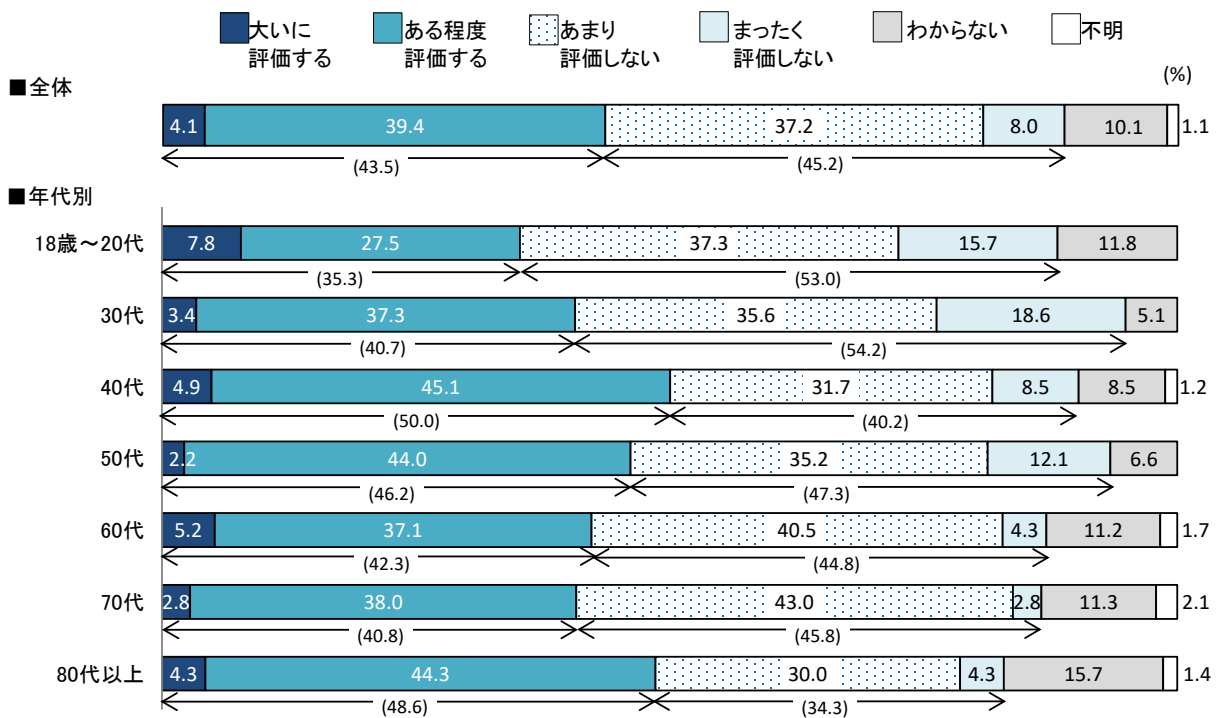
◆ 物価高対策「評価しない」が拮抗。30代で半数超が不満

集計表48～49ページ

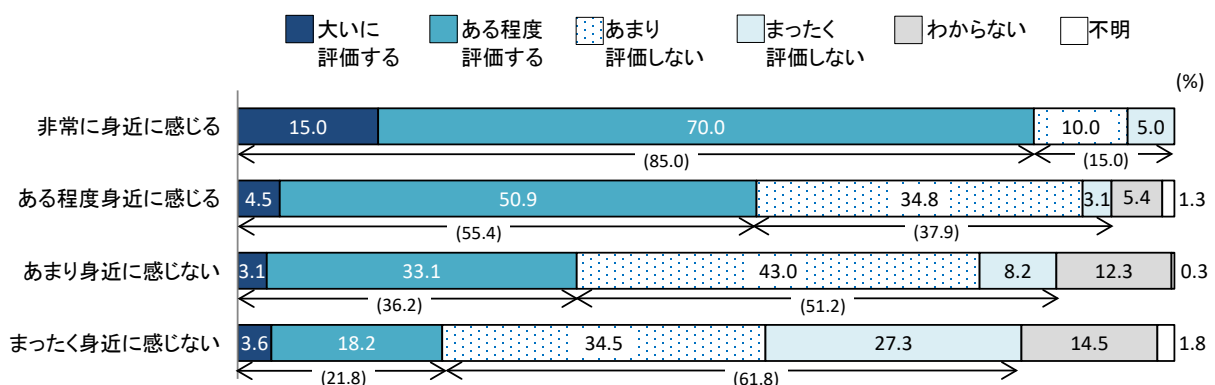
物価高対策や生活支援策について、「評価する」は43.5%に対し、「評価しない」が45.2%と拮抗し、ほぼ同数となった。県の支援策が十分に行き届いているか県民心理が二分している状況が表れたとみられる。

年代別では、18歳～20代や30代において「評価しない」が半数を超え、全体を上回り、子育て・現役世代の不満が顕著に表れた。地域別では、南信や中信において評価しない層が比較的多い。

他設問とのクロス集計では、県政を「ある程度身近に感じる（問3）」層の55.4%が本施策を評価している。一方で、県政を「あまり身近に感じない（問3）」層では、評価しない割合が51.2%に達し、評価する割合（36.2%）を明確に上回った。日頃の県政への親近感の有無が、自身の生活に直結する支援策への信頼や納得感を左右する要因となっている実態が伺える。



■クロス集計 問10B「物価高対策や生活支援策の評価」×問3「県政への親近感」

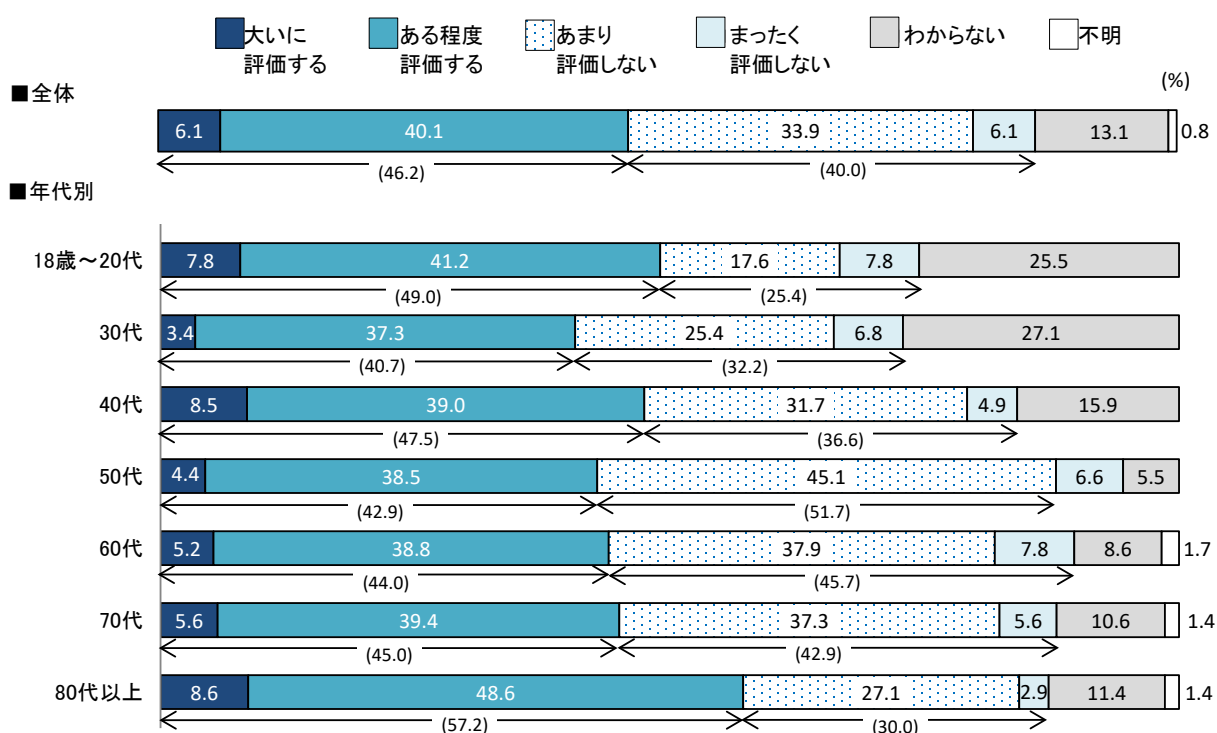


◆ 医療・介護体制、4割後半が「評価」。高齢層の安心感を反映

集計表50～51ページ

医療・介護体制の確保について、「評価する」は46.2%で、「評価しない」の40.0%を上回った。肯否が割れる他項目に比べ、一定の信頼を得ている。

年代別では、80代以上（57.2%）で評価が最も高く、高齢層の安心感が伺える。一方で、50代や60代では「評価しない」が「評価する」を上回り、現役・介護世代の評価は厳しい。地域別では、北信（53.2%）で評価が高い一方、東信（39.3%）や南信（40.1%）では低調であった。



問 10D 公共交通維持の取り組み（路線バスの減便・廃止、ローカル鉄道の存続協議、移動手段の

◆ 公共交通維持「評価しない」が半数。50代や農山村部で厳しい評価

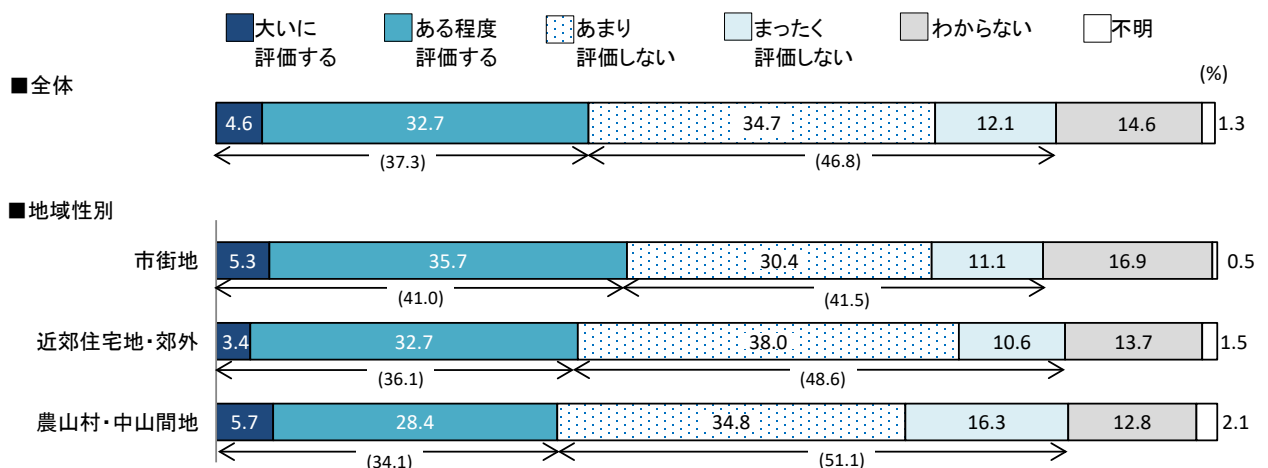
集計表52～53ページ

公共交通維持について、「評価する」は37.3%にとどまり、「評価しない」が46.8%と9.5ポイントと明確に上回った。バス路線の減便・廃止が相次ぐ中、移動手段の確保に対する県民の強い不満が浮き彫りとなった。

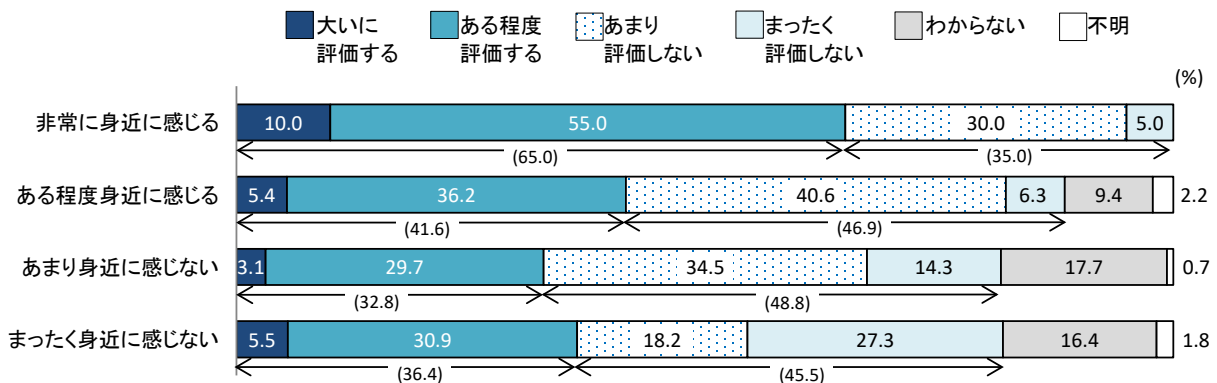
年代別では、50代（59.4%）や60代（50.8%）で「評価しない」が過半数となり不評が目立つ一方、80代以上（48.6%）では「評価する」が全体を上回った。住まいの地域性別では、農山村・中山間地において「評価しない」が51.1%と半数を超え、移動手段の確保が死活問題となっている地域の現状が反映された。

地域別では、北信（49.5%）において評価しない割合が最も高く、全県的に不満が広がっている。

他設問とのクロス集計では、県政を「ある程度身近に感じる（問3）」層においても46.9%が「評価しない」としており、行政への親近感にかかわらず、交通インフラの現状には厳しい視線が注がれている。



■クロス集計 問10D「公共交通維持の評価」×問3「県政への親近感」

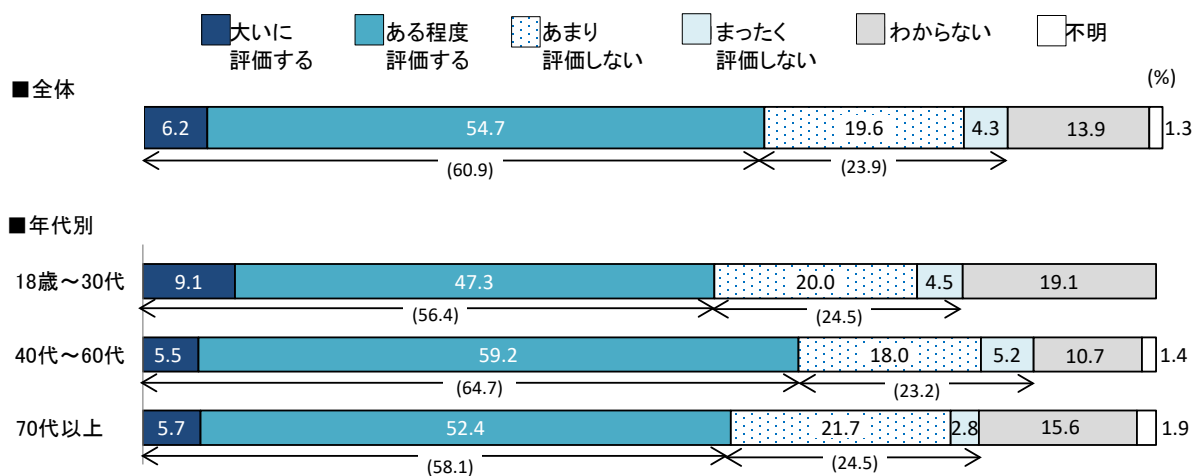


◆ 防災・減災、6割が評価。7項目の中で最も高い信頼を獲得

集計表54～55ページ

防災・減災対策について、「評価する」は60.9%に達し、提示された7項目の中で唯一6割を超えた。県の取り組みは県民から幅広く支持されている。

年代別では、40代～60代（64.7%）で特に評価が高く、全体を上回っている。男女別でも共に6割を超えており、性別を問わず評価が高い。地域別では、中信（65.4%）や北信（64.2%）で評価が高い。職業別では、事務系・技術系（64.6%）やパート・アルバイト（61.7%）など、多くの属性で6割を超えた。



◆ 産業・経済政策に厳しい評価。現役世代の不満は5割超に

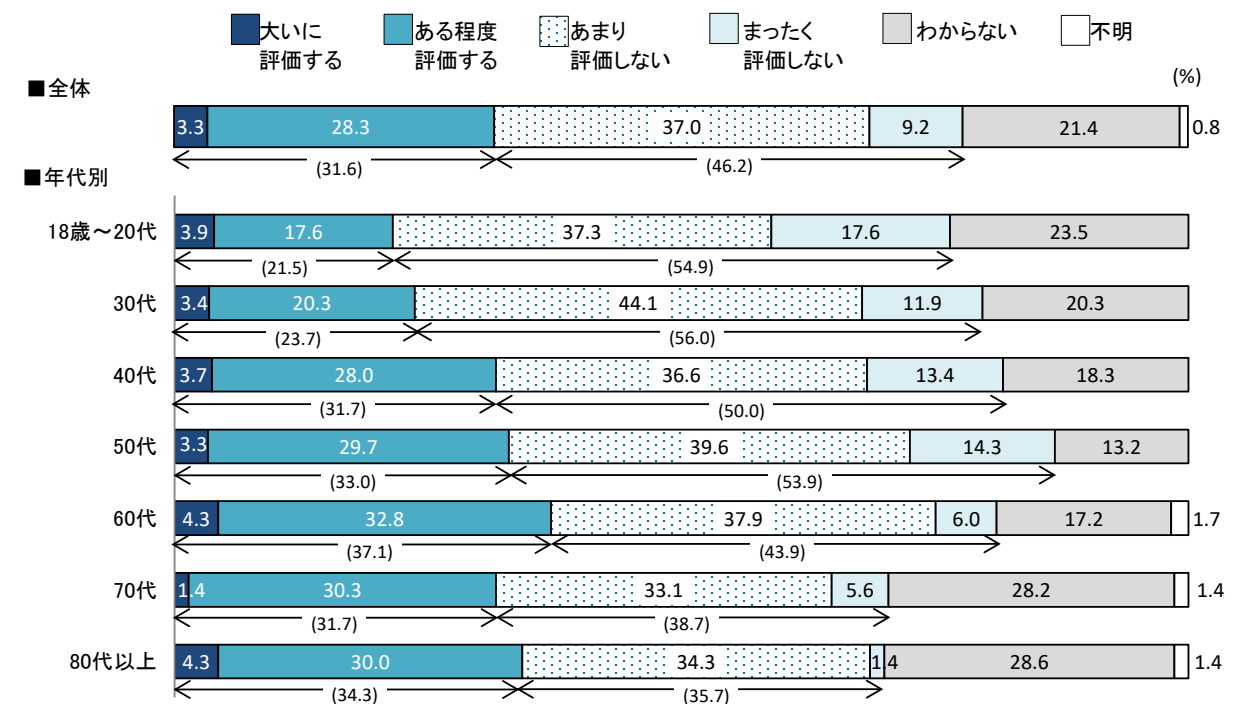
集計表56～57ページ

産業振興や地域経済政策について、「評価する」は31.6%にとどまり、「評価しない」が46.2%に達した。経済施策への評価は、7項目の中で最も低い。

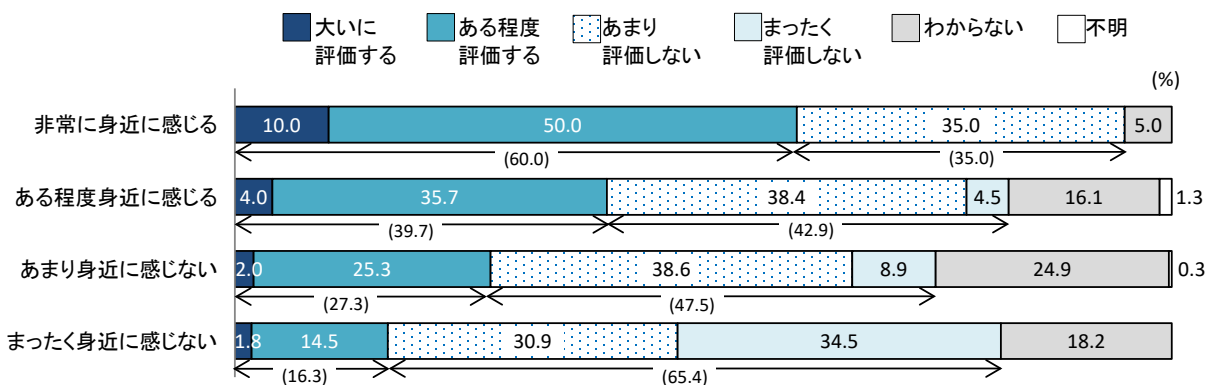
男女別では、男性（48.5%）の方が女性（44.6%）よりも「評価しない」割合が高い。年代別では、18歳～20代（54.9%）、30代（56.0%）、50代（53.9%）と、現役世代の半数以上が不満を示している。県内の経済実態に対する厳しい評価が表れた形だ。

地域別では、中信（50.0%）や南信（49.3%）において不満が強い。

他設問とのクロス集計では、県政を「あまり身近に感じない（問3）」層の47.5%、「まったく身近に感じない」層の65.4%が「評価しない」と回答。県政を身近に捉えていない層ほど、県の経済政策は不十分と映っている実態が裏付けられた。



■クロス集計 問10F「産業・経済政策の評価」×問3「県政への親近感」



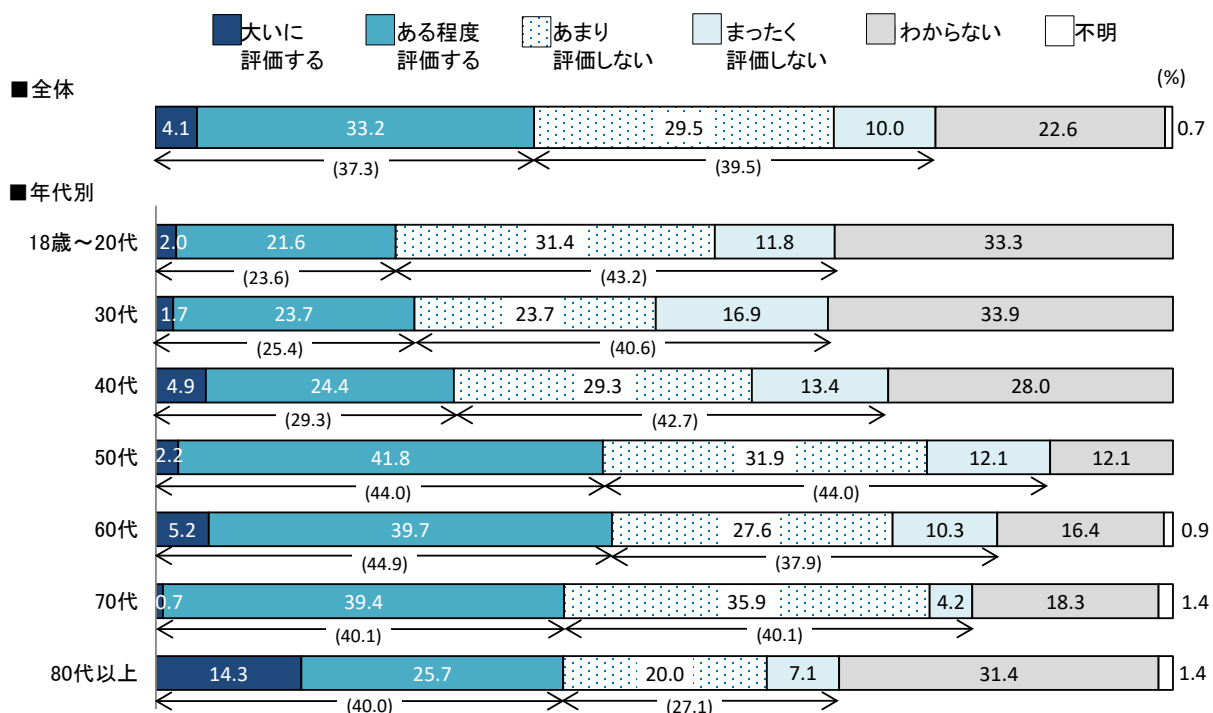
◆ 県政の透明性、肯否が拮抗。親近感を持つ層との評価差が鮮明に

集計表58～59ページ

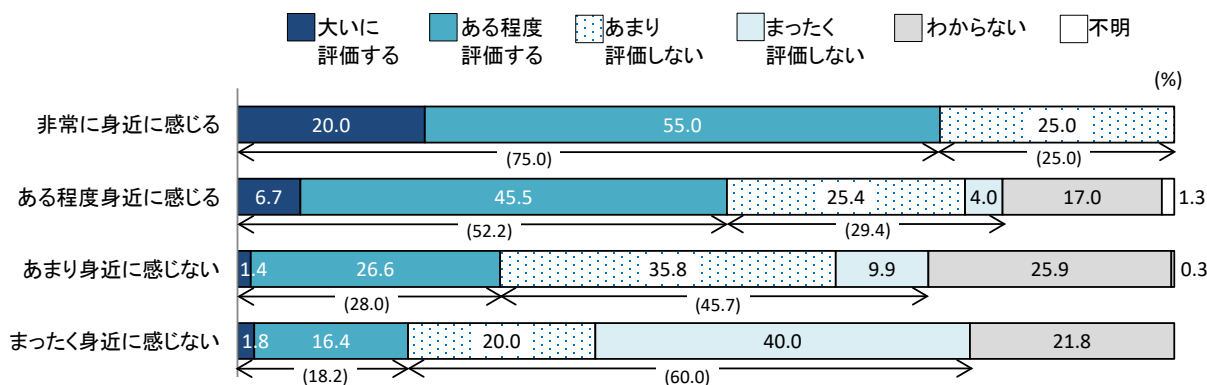
県政運営の透明性や説明責任について、「評価する」は 37.3%、「評価しない」は 39.5%となり、肯否が拮抗した。意思決定過程がまだ十分に県民に浸透していない実態を示している。

年代別では、60代（44.9%）で評価が高い一方、18歳～20代や30代では低調であった。住まいの地域性別では、近郊住宅地・郊外（41.1%）に比べ、農山村・中山間地（30.5%）では評価が低い結果となった。地域別では、東信（41.9%）、北信（40.5%）で評価が高い一方、中信（33.3%）、南信（34.2%）では低く、地域差も見られる。

他設問とのクロス集計では、県政を「ある程度身近に感じる（問3）」層の 52.2%が「評価する」としているのに対し、「あまり身近に感じない」層では 28.0%にとどまる。県政を身近に捉えているかどうかの距離感が透明性への評価を左右している。



■クロス集計 問10G「透明性や説明責任の評価」×問3「県政への親近感」



次の知事に求める資質や姿勢

問 11 次の長野県知事に、特に求める資質や姿勢を2つまで選んでください。

◆ 次期知事に求めるのは「政策実行力」と「誠実さ」

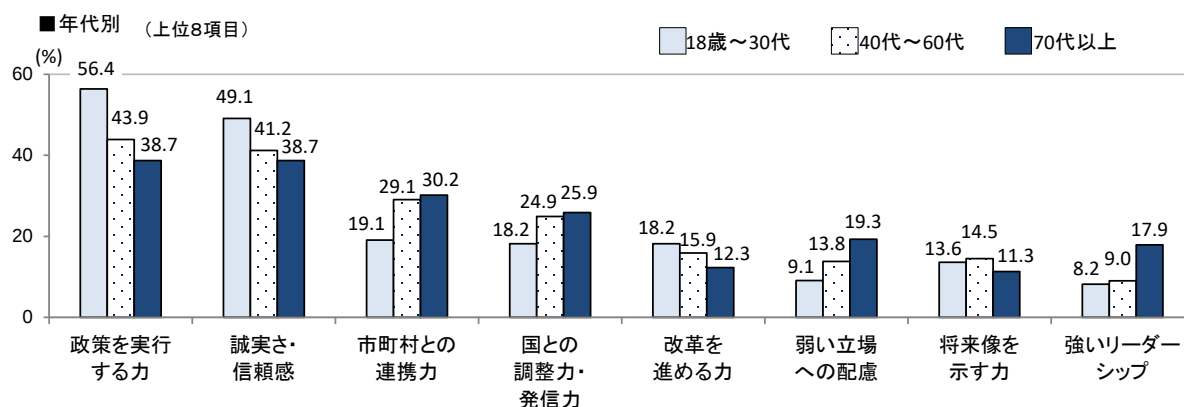
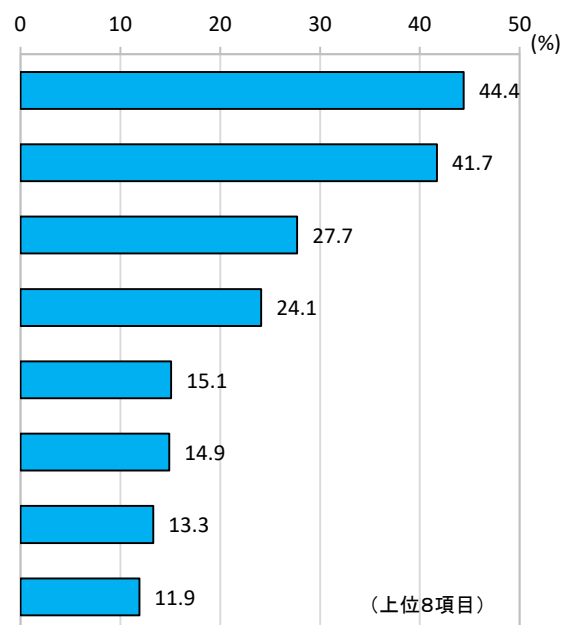
集計表60～61ページ

実務重視の県民意識が鮮明に

次の知事に求める資質（2つ選択）は、「政策を実行する力」が44.4%で最も多く、次いで「誠実さ・信頼感」41.7%となり、実行力と誠実さへの期待がほぼ同率で並んだ。前回（2022年）は「おごらず、誠実で、信頼される（63.1%）」が最多だったが、今回は実行力への期待がやや上回った。

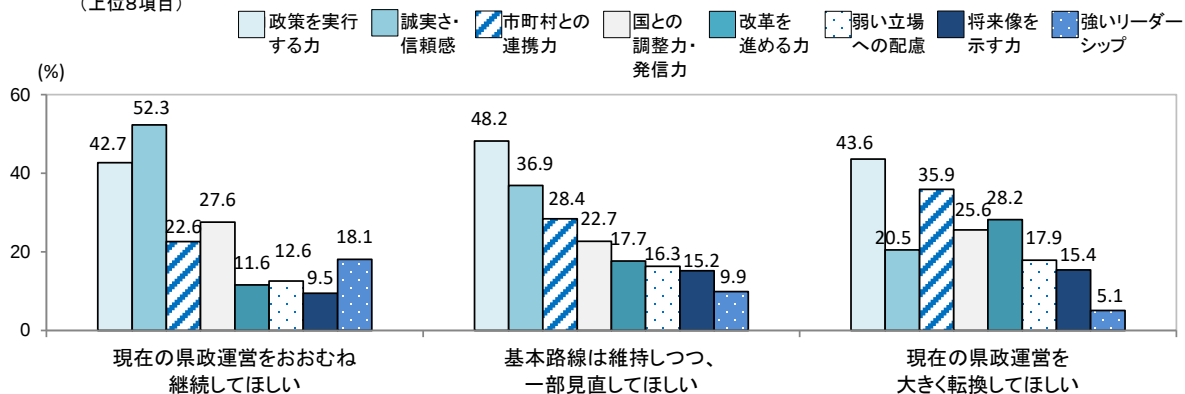
年代別では、18歳～30代で「政策を実行する力」「誠実さ・信頼感」への要望がそれぞれ56.4%、49.1%と高く、若年層ほど候補者の「人柄」や「確かな仕事」を重視する傾向にある。男女別では、「市町村との連携力」について女性（30.1%）が男性（24.6%）を上回った。

県政運営の方向性（問12）とのクロス集計では、「基本路線は維持しつつ、一部見直してほしい」とする層の48.2%が「政策を実行する力」を求め、次いで36.9%が「誠実さ・信頼感」を求めている。「現在の県政運営をおおむね継続してほしい」とする層では最多の52.3%が「誠実さ・信頼感」を、42.7%が「政策を実行する力」を求めており、安定的な継承を望む層においても、実務能力と信頼性の両立を求めている。



■クロス集計 問11「求める資質」×問12「運営の方向性」

(上位8項目)



次期知事に求める県政運営の方向性

問12 次の長野県知事に求める県政運営の方向性として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

◆ 県政運営「継承・修正」が8割。安定した進化を望む声が大勢

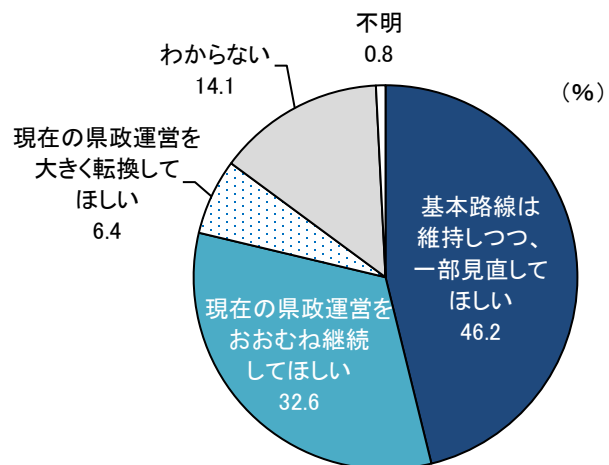
集計表62～63ページ

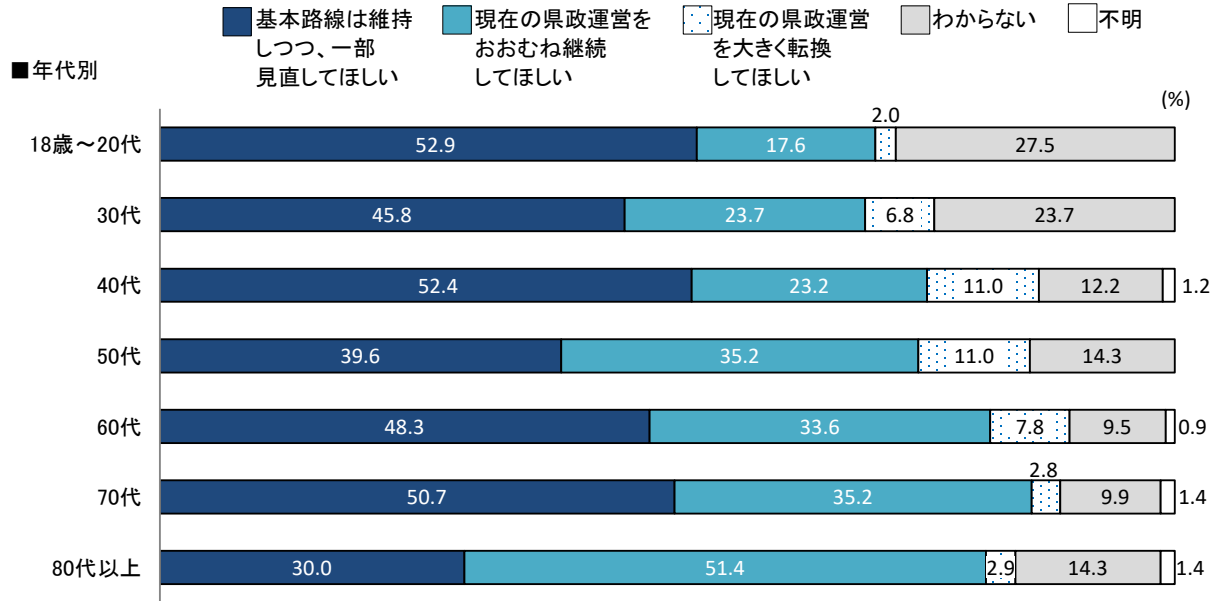
次期知事に求める運営の方向性は、「基本路線は維持しつつ、一部見直してほしい」が46.2%で最も多かった。次いで「おおむね継続してほしい」が32.6%となり、「大きく転換してほしい」は6.4%にとどまった。

年代別では、80代以上や70代で「おおむね継続」が高い一方、40代・50代では「大きく転換」を求める声が全体を上回る。

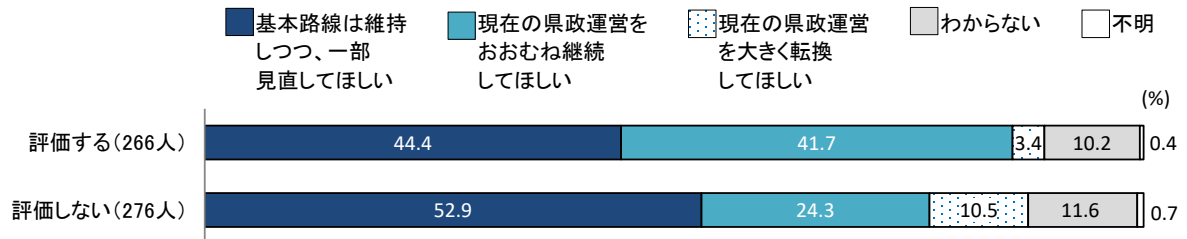
地域別では、東信（53.8%）で一部見直しを求める声が半数を超えた。

他設問とのクロス集計では、県政の物価高対策や生活支援策（問10B）を「評価しない」層においては、「基本路線を維持しつつ一部見直し」を求める割合が52.9%と過半数に達した。一方で「評価する」層では「おおむね継続」を求める割合が41.7%と一定割合を占めており、主要施策への評価が県政路線への支持姿勢に表れている。





■クロス集計 問12「運営の方向性」×問10B「物価高対策や生活支援策」



高市政権の支持

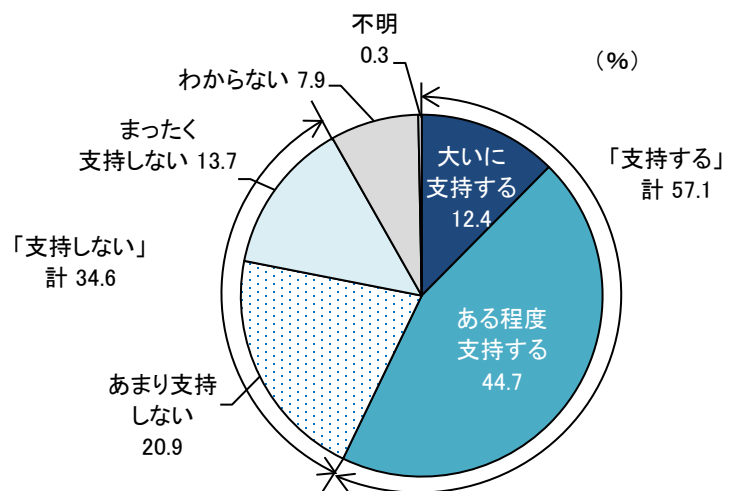
問 13 あなたは、高市早苗政権を支持しますか。支持しませんか。

◆ 高市政権支持は5割台後半。自民支持層を強固に集約

集計表64ページ

高市政権を「支持する（大いに＋ある程度）」は57.1%、「支持しない（あまり＋まったく）」は34.6%であった。

年代別では、18歳～20代(70.6%)や50代(73.6%)で特に支持が厚い。支持政党別では、自民党支持層の88.8%が支持しており、保守層の支持を固めている。無党派層では支持40.4%、不支持50.2%と不支持が上回った。



支持政党

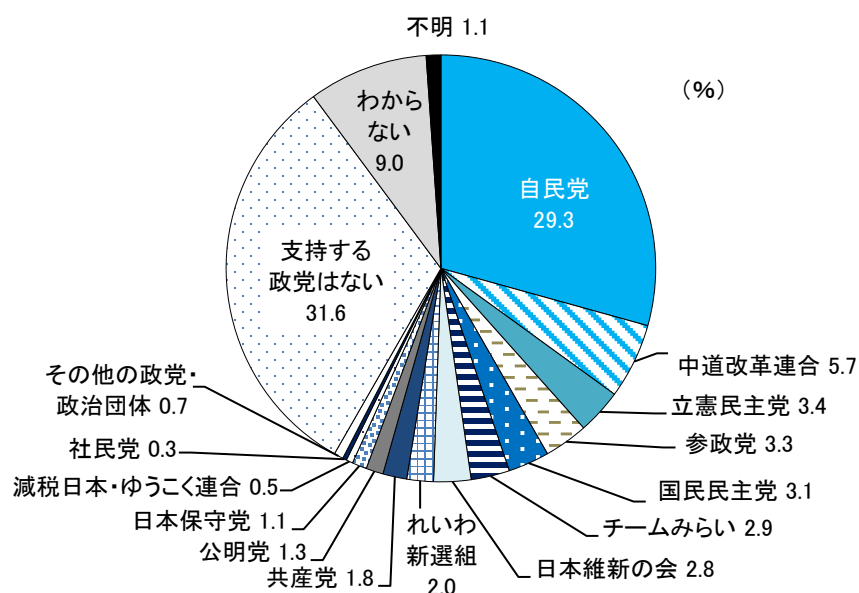
問 14 あなたは現在、どの政党・政治団体を支持していますか。

◆ 自民党支持率 3 割。無党派層も 3 割を維持

集計表65ページ

現在支持している政党は、自民党が 29.3%、次いで中道改革連合の 5.7%の順となった。「支持する政党はない」無党派層は 31.6%であった。前回（2022 年）の自民 30.4%、支持政党なし 45.2%と比較すると、無党派層の割合が低下し分散が見られる。

年代別では、80 代以上で自民支持がやや高く、30 代で無党派層がやや高い。地域別では、南信で自民支持が比較的高く、中信で無党派層がやや多い。



Ⅲ 調査票

「2026知事選告示前 世論調査」調査票

＜ご回答に際してのお願い＞

- ❖ 封筒の宛名に書かれたご本人様の回答をお願いいたします。
- ❖ ご回答は、選択肢の番号を右端の□の中にご記入ください。
- ❖ その他の場合は、()内に内容をご記入ください。

問 1 あなたは、今夏行われる長野県知事選挙について、どの程度関心がありますか。

- ① 非常に興味がある
- ② ある程度興味がある
- ③ あまり興味がない
- ④ まったく興味がない
- ⑤ わからない

11

問2 あなたが、今回の長野県知事選で特に重視したい政策分野を、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① 子育て・少子化対策 | ⑩ 農林業振興 |
| ② 医療・介護 | ⑪ 観光振興 |
| ③ 物価高・生活支援 | ⑫ 脱炭素・環境政策 |
| ④ 雇用・賃上げ・地域経済 | ⑬ 多文化共生・外国人政策 |
| ⑤ 教育・高校改革 | ⑭ 行財政改革 |
| ⑥ 人口減少対策 | ⑮ その他 |
| ⑦ 公共交通対策 | () |
| ⑧ 防災・災害対策 | ⑯ 特にない |
| ⑨ 防犯対策 | ⑰ わからない |

問３ あなたは、現在の長野県政を身近に感じていますか。

- ① 非常に身近に感じる
- ② ある程度身近に感じる
- ③ あまり身近に感じない
- ④ まったく身近に感じない
- ⑤ わからない

7

問4 現在の長野県内での暮らし向きについて、あなたの実感に近いものを選んでください。

- ① とても良い
- ② ある程度良い
- ③ あまり良くない
- ④ まったく良くない
- ⑤ わからない

☐

問5 今後の長野県の将来について、あなたはどの程度不安を感じていますか。

- ① 強く不安を感じる
- ② ある程度不安を感じる
- ③ あまり不安を感じない
- ④ まったく不安を感じない
- ⑤ わからない

☐

問6 長野県では人口減少や高齢化が進み、地域の担い手不足、公共サービスの維持などへの不安が広がっています。あなたはどの程度不安を感じていますか。

- ① 強く不安を感じる
- ② ある程度不安を感じる
- ③ あまり不安を感じない
- ④ まったく不安を感じない
- ⑤ わからない

☐

問7 少子化に伴い、長野県では公立高校の再編や統合が進められています。一方で、地域から高校がなくなること、若者流出や地域の衰退につながるの不安もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

- ① 統合・再編を積極的に進めるべき
- ② 一定の再編はやむを得ない
- ③ 地域の高校をできるだけ維持すべき
- ④ わからない

☐

問8 長野県は「ゼロカーボン政策」を進めています。再生可能エネルギーの導入拡大や脱炭素化を進める一方、生活負担や景観・環境への影響を懸念する声もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

- ① 多少負担が増えても積極的に進めるべき
- ② 負担とのバランスを取りながら進めるべき
- ③ 生活負担を優先し慎重に進めるべき
- ④ わからない

☐

問9 長野県内では介護、観光、農業などの分野で外国人労働者が増えています。一方で、地域でのルールや共生のあり方を不安視する声もあります。あなたの考えに近いものはどれですか。

- ① 地域社会の担い手として積極的に受け入れるべき
- ② 一定のルール整備を前提に受け入れるべき
- ③ 受け入れは慎重に進めるべき
- ④ 受け入れを増やすべきではない
- ⑤ わからない

問10 あなたは、次に挙げる長野県の課題や施策の現状を、評価しますか。評価しませんか。A～Gそれぞれにつき、該当する番号に○印を付けてください。

		大いに評価する	ある程度評価する	あまり評価しない	まったく評価しない	わからない
A	人口減少対策 (若者流出、担い手不足、移住促進への対応など)	①	②	③	④	⑤
B	物価高対策や生活支援策 (価格高騰対策、子育て支援、若者支援など)	①	②	③	④	⑤
C	医療・介護体制の確保 (地域医療、医師不足、高齢者支援など)	①	②	③	④	⑤
D	公共交通維持の取り組み (路線バスの減便・廃止、ローカル鉄道の存続協議、移動手段の確保など)	①	②	③	④	⑤
E	防災・減災対策 (豪雨災害、地震への備えなど)	①	②	③	④	⑤
F	産業振興や地域経済政策 (中小企業支援、観光客増加や人手不足への対応、賃上げなど)	①	②	③	④	⑤
G	県政運営の透明性や説明責任 (県民への説明、情報公開、政策決定過程の見えやすさなど)	①	②	③	④	⑤

問11 次の長野県知事に、特に求める資質や姿勢を2つまで選んでください。

- | | |
|--------------|-------------------------------|
| ① 誠実さ・信頼感 | ⑥ 弱い立場への配慮 |
| ② 政策を実行する力 | ⑦ 将来像を示す力 |
| ③ 改革を進める力 | ⑧ 強いリーダーシップ |
| ④ 国との調整力・発信力 | ⑨ その他（ ） |
| ⑤ 市町村との連携力 | ⑩ わからない |

問12 次の長野県知事に求める県政運営の方向性として、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

- ① 現在の県政運営をおおむね継続してほしい
- ② 基本路線は維持しつつ、一部見直してほしい
- ③ 現在の県政運営を大きく転換してほしい
- ④ わからない

--

問13 あなたは、高市早苗政権を支持しますか。支持しませんか。

- ① 大いに支持する
- ② ある程度支持する
- ③ あまり支持しない
- ④ まったく支持しない
- ⑤ わからない

--

問14 あなたは現在、どの政党・政治団体を支持していますか。

- | | |
|----------|---------------|
| ① 自民党 | ⑨ 共産党 |
| ② 中道改革連合 | ⑩ れいわ新選組 |
| ③ 日本維新の会 | ⑪ 減税日本・ゆうこく連合 |
| ④ 国民民主党 | ⑫ 日本保守党 |
| ⑤ 公明党 | ⑬ 社民党 |
| ⑥ 参政党 | ⑭ その他の政党・政治団体 |
| ⑦ 立憲民主党 | ⑮ 支持する政党はない |
| ⑧ チームみらい | ⑯ わからない |

--

F 1 あなたの性別 ① 男性 ② 女性 ③ その他・回答しない

☐

F 2 あなたの年代 ① 10代 ⑤ 50代
② 20代 ⑥ 60代
③ 30代 ⑦ 70代
④ 40代 ⑧ 80代以上

☐

F 3 あなたの職業 ① 事務系・技術系従事者 ⑥ 専業主婦・主夫
② 現業・サービス業系従事者 ⑦ パート・アルバイト
③ 役員・管理職・自由業 ⑧ 学生
④ 商工・自営業 ⑨ 無職
⑤ 農・林・漁業 ⑩ その他 ()

☐

F 4 お住まいの地域性 ① 市街地 ② 近郊住宅地・郊外 ③ 農山村・中山間地

☐

F 5 SNSの利用頻度

あなたは、X (旧 Twitter)、Instagram、Facebook、YouTube などの SNS を、
どのくらいの頻度で利用していますか。

- ① ほぼ毎日利用している
- ② 週に数回利用している
- ③ 月に数回利用している
- ④ ほとんど利用していない
- ⑤ まったく利用していない

☐

F 6 現在の日本の社会の暮らし向きを6つに分けるとすれば、あなたの家庭は
どのあたりに入ると思いますか

- ① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

☐

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ